

鹿島市の教育

令和5年度



観光客に浜宿ガイドをする浜小の児童

鹿島市教育委員会

目 次

(令和5年度版)

鹿島市の概要

- 1 沿革 1
- 2 位置・面積・人口・世帯数 2

鹿島市子ども教育大綱 3

学校教育

- 1 学校教育方針 5
- 2 研究、研修、委託事業等の推進と現状
 - 市単独事業 10
(教科研究、一人ひとりを伸ばす教育、学力向上、いじめ不登校対策等)
 - 国・県委託、補助事業 13

市内小中学校 16

社会教育

- 1 社会教育方針 25
- 2 社会人権・同和教育事業
 - (1) 社会人権・同和教育の基本方針 27
 - (2) 社会人権・同和教育の具体的方針 27
 - (3) 社会人権・同和教育の具体的活動 28
 - (4) 人権・同和教育施策 29
- 3 社会教育・生涯学習主要事業計画 30
- 4 文化の振興及び文化財の保護 31
- 5 鹿島市生涯スポーツ振興計画 33

鹿島市の学校給食

- 1 基本方針 35
- 2 鹿島市立学校給食センターの概要 36

鹿島市生涯学習センター・エイブル

- 1 基本方針 39
- 2 事業概要 40

鹿島市民図書館

- 1 図書館運営の基本方針 42
- 2 令和5年度計画 43

資料編

教育委員会

- 1 教育委員（現委員・歴代委員長・同教育長・同委員） 45
- 2 教育委員会組織 46

学校教育

- 1 歴代外国語指導助手 47
- 2 校医等一覧 48
- 3 人口・世帯数の推移 49
- 4 児童生徒在籍者数 50
- 5 特別支援学級入級状況 51
- 6 通級指導教室指導状況 51
- 7 児童生徒数・学級数の推移
 - (1) 児童生徒数の推移 52
 - (2) 学級数の推移 55
- 8 市内小中学校教職員数一覧 56

教育財政

- 1 一般会計予算 57
- 2 教育費予算 58
- 3 教育費（決算）の推移及び教育費構成比及び前年対比 59

学校施設

- 1 学校施設現況表等 61
- 2 校舎等主要施設一覧 63

社会教育

- 1 社会教育の組織・機構
 - (1) 社会教育機構図 65
 - (2) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員名簿 66
 - (3) 社会教育の体系 67
 - (4) 公民館施設一覧 68
 - (5) 青少年育成市民会議構成団体代表者名簿 70
 - (6) 青少年問題協議会委員名簿 71
 - (7) 指定文化財一覧 72
 - (8) 市内文化財関連施設一覧 74
 - (9) 鹿島市文化財保護審議会委員 74
 - (10) 鹿島市図書館協議会委員 74
 - (11) 生涯スポーツ推進組織図 75
 - (12) スポーツ推進審議会委員・スポーツ推進委員 76
 - (13) スポーツ推進委員協議会組織図 77
 - (14) 令和5年度生涯学習課スポーツ事業計画 78
 - (15) 体育施設状況 79
 - (16) スポーツ協会組織図 81
 - (17) 鹿島市生涯学習センター・エイブル（市民図書館）施設概要 82
 - (18) 生涯学習センター年度別利用人数・利用料実績 83
 - (19) 鹿島市民図書館 年度別利用実績 84

鹿島市の概要

1 沿革

本市は、多良岳の東北山麓に、中川、鹿島川、石木津川などの河川が造成した扇状地を中心に開発されたところである。

縄文時代末期から遺跡が分布しているが、大和朝廷の国土統一事業が進展する過程において、葛津立国造がおかれ、大化改新後においては、肥前国藤津郡の郡家がこの地に設けられ、平安時代には京都仁和寺の荘園となった。

鎌倉時代以降は古枝の大村方に本拠をおく大村氏が勢力をこの地にふるったが、戦国時代に勢力が衰え代わって有馬氏の勢力圏となった。しかし佐嘉の龍造寺隆信のために有馬氏の勢力は駆逐された。

江戸時代に入ると、佐嘉鍋島氏35万7千石の鹿島支藩主の居城が築かれたが、現在の鹿島市内には鹿島藩領のほか嬉野氏や深江氏の私領、川久保領や蓮池藩領または佐嘉本藩の支配地などがあって領有関係は実に複雑に入り混り、用水路、その他多くの問題が伏在していた。

鹿島2万石も藩の実収入は8千石以下で、財政的には苦しく、農地の拡大や農作物の増収のために、干拓事業や貯水池の築成および水路の開発などが推進された。特に三代藩主直朝は、民政に力を注ぎ、干拓や貯水池の築成などの事業を強力に推進したので、藩民に敬慕され恩瓊神または直朝神として各所に奉祀されている。文化年間には、居城が水害を受けるため高津原の地に新城を築いて移ったが、この城は明治7年の佐賀の乱で主要建物が焼かれ、大手門と本門である赤門が2棟残っている。

幕末には、第13代藩主直彬の時代に明治維新を迎えた藩主直彬は幕末の名君として誉れ高く、また藩内の民政安定と文教の振興に意を用い、その教訓を受けた田中鉄三郎、田澤義鋪、鍋島直紹など幾多の人材を輩出し、文教都市鹿島の基礎を築いた功績は極めて大きい。

廃藩置県以後は、中央政府の下部機関としての一地方政治が始まり、めまぐるしい統廃合や制度の改変が行われる中で市町村制としての地方自治の方向が定まってきた。さらに大正から昭和へと移行したが、戦時体制への突入のため国、県、市町村の関係が強化され、戦争遂行のため住民自治という面では後退せざるを得なかった。

戦後、新憲法と同時に地方自治も施行され、住民自治の原則が確立された。

昭和29年に、鹿島町、鹿島村、古枝村、能古見村、浜町の2町3村が合併して市制を施行し同30年に七浦村を編入合併して鹿島市が誕生した。

以来、総合計画を基本的指針として行財政の充実発展を図ってきたところであるが、近年では国内外の社会・経済情勢の著しい変化と市民の多様化するニーズに応えるため、令和3年3月に策定した第7次鹿島市総合計画に基づき、まちづくりを推進している。

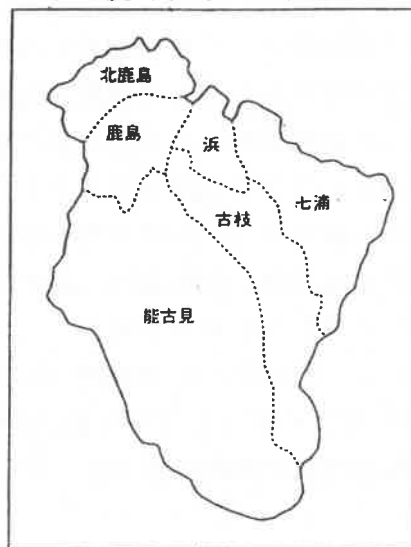
2 位置・面積・人口・世帯数

本市は佐賀県の西南部に位置し、人口約2万8千人、世帯数約1万9百世帯の「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」をめざす、自然の美しさと人情味豊かな田園都市である。

東は恵の海「有明海」に向けて開け、西を多良山系の山々に抱かれ、東西11.5km、南北16.4km、総面積112平方キロメートルにおよび、市の中心部を佐賀県と長崎県を結ぶ国道207号が有明海に沿って通り、これと平行してJR長崎本線が走っている。県の中心地・佐賀市から31kmの距離にある。



鹿島市地図



第2期 鹿島市子ども教育大綱

1 大綱とは

この「鹿島市子ども教育大綱」(以下「大綱」という。)は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定により、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

2 第2期大綱の期間

第1期(H28~R2)大綱の期間の終了に伴い、新たに第2期大綱を策定するものです。

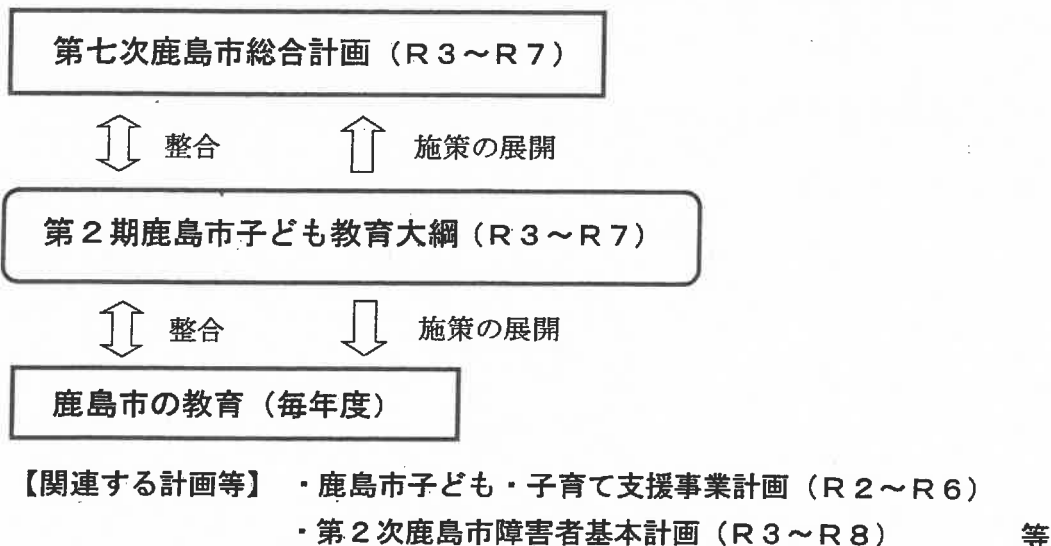
期間：令和3年度～令和7年度までの5年間

3 大綱の考え方と位置づけ

子どもたちとその教育に焦点をあて、鹿島市における教育の方向性を示すものです。

第1期では、子どもを中心として子どもたち全体を取り巻く学校、家庭、地域など、様々な人たちが様々な形で関わりを持ち連携していくという考え方で、第2期においても基本的な方向性は変えず、実情に応じた施策を追加しました。

「第七次鹿島市総合計画」は市の最上位の計画として、鹿島市の将来像やまちづくりの基本的な考え方や施策を掲げたものです。「第2期鹿島市子ども教育大綱」は子どもやその教育に特化したものであり、「鹿島市の教育」の中でさらに細かく目標等を定めています。他にも「鹿島市子ども・子育て支援事業計画」など関連のある計画の中でも取り組んでいきます。



4 大綱の概要

「鹿島市子ども教育大綱」は、市内の小中学生を対象としているが、幼児や高校生等にもつながりがあることから、相互に関連性を持たせ、子どもたちが生きるために必要な力=生きる力(豊かな心、健やかな体、確かな学力など)を身に付け、その過程において個性を伸ばす教育を推進することを理念としています。分かりやすく図で表現し、第2期における新たな取り組みも掲載しています。

主な施策については「第七次鹿島市総合計画」で取り組むこととし、別に付属資料としてまとめています。

5 第2期大綱における特色

○ 安全・安心の取り組みの強化と防災教育や感染症の対策の推進

近年の状況を踏まえて、自然災害や火災に備える防災教育や、新型コロナウイルスを含めた感染症への対策を推進します。

○ GIGAスクール構想に基づくICTの環境整備や教職員の働き方改革の推進

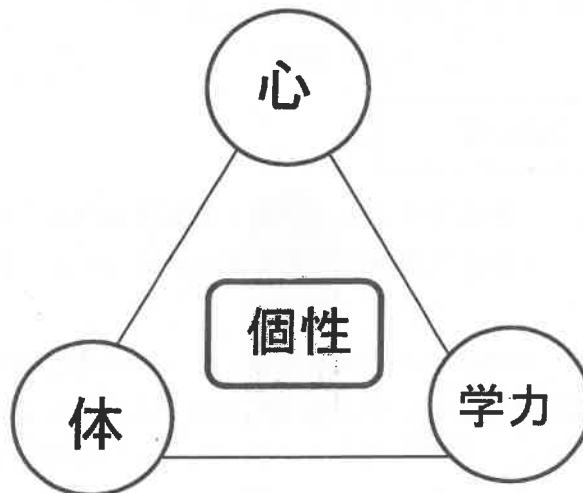
校内LANの整備や学習用PCを導入することにより、特別な支援を必要とする子どもを含め資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を整備します。また、教務・学籍・学校事務などを一括管理する校務システムの導入により、教職員の業務効率化や負担軽減を図っていきます。

6 第2期大綱の基本理念

生きる力を身につけ個性を伸ばす子どもづくり

- ◎ 心 … 自分、家庭、人、ふるさとを大切にしよう。
- ◎ 体 … 適度な運動、バランスのとれた食事、必要な休息によってしっかりした体をつくろう。
- ◎ 学力… 基礎学力を習得した上で、確かな学力を身につけよう。

ゆたかな「心」を育みます。



すこやかな「体」を育てます。

たしかな「学力」を身につける教育を推進します。

1. 令和5年度 鹿島市学校教育方針

鹿島市教育委員会

I 基本方針

児童生徒が未来の創り手として主体的に生きるために、確かな学力・豊かな心・健やかな体の三つの要素（生きる力）について、調和の取れた育成を図る。また、学校・家庭・地域のつながりと信頼関係を強め、児童生徒が個性と能力を発揮できる教育を推進する。

II 重点目標

確かな学力

新しい時代に生きる児童生徒に必要な資質・能力を伸ばす教育を推進する。

ふるさと・命・思いやり

ふるさと「鹿島」を愛し、心豊かでたくましい児童生徒を育む教育を推進する。

地域連携・資質向上

学校と地域の連携を強化し、地域の信頼に応える学校づくりを推進する。

学びの環境

学びを支える教育環境の整備と充実を推進する。

Ⅲ 施策

確かな学力

新しい時代に生きる児童生徒に必要な資質・能力を伸ばす教育を推進する。

確かな学力の向上と定着

- ① 主体的・対話的で深い学びを通して、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る指導の充実
- ② 「かしまの学びスタイル」*を活用した、「分かる・できる」授業の工夫
- ③ 学習規律の定着と学びの習慣化に向けた家庭学習の充実

教育内容・方法の充実

- ① カリキュラムマネジメントの確立と改善
- ② 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の推進及び主体的に自己実現をめざす進路指導の充実
- ③ よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力を育てる主権者教育の推進
- ④ 一人一台端末の活用等を通じた、一人一人の個性に応じた学びの実現
- ⑤ 幼保小及び小中高の連携を進め、学びの連続性を考慮した指導内容・方法の工夫改善

【 指 標 】

指標名	単位	現状	目標
		令和4年度	令和5年度
1 「学校の授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合	学年 教科	小5/94% 中1/90%、中2/73%	小5/95% 中1/95%、中2/90%
2 「学校では、落ち着いて勉強することができる」と回答した児童生徒の割合	学年 教科	小5/91% 中1/87%、中2/83%	小5/95% 中1/90% 中2/90%
3 「普段1日に1時間以上学習する」と回答した児童生徒の割合	学年 %	小5 /59% 中1/54%、中2/40%	小5/65% 中1/75%、中2/75%
4 「一人一台端末を用いた学習は役に立つ」と回答した児童生徒の割合	%	97%	100%
5 主権者教育の視点を取り入れた学習を実施した学校数	小中学校	—	9 / 9校

※「めあての設定」や「話し合う活動の設定」「家庭学習の充実」など、子どもたちの学力向上に向けた授業改善を推進していくための基礎となる共通の学び方。令和4年度に鹿島市学力向上推進委員会で策定。

ふるさと・命・思いやり

ふるさと「鹿島」を愛し、心豊かでたくましい児童生徒を育む教育を推進する。

豊かな心を育む

- ①鹿島の文化や自然、産業（ものづくり）、偉人等についての学習を通して、ふるさと「鹿島」に対する愛着と誇りの育成
- ②ユニバーサルデザイン教育の推進、ふれあい活動等の福祉教育及びボランティア精神を育成する体験活動の充実
- ③「インクルーシブ教育システム」の理念を踏まえた特別支援教育の充実と、就学前から学校卒業後まで一貫した支援の充実
- ④広い視野を育てるための国際理解教育への対応と、自然や資源等への関心を深めるための環境教育の推進
- ⑤情報活用能力の向上と情報モラル・マナー等の習得を図る情報教育の推進
- ⑥健全な教養と豊かな感性を育てるための読書活動、文化活動の推進

人権・生命の尊重などの学習を通して人を思いやる心を育む

- ①道徳教育の充実と道徳的実践力の育成
- ②人権・同和教育の充実と、生命尊重や思いやりの心、倫理観や正義感を育む心の教育の充実
- ③「鹿島市いじめ防止基本方針」に基づく、いじめの防止、早期発見・早期対応の強化と、関係機関との連携を含めた生徒指導体制の充実
- ④不登校傾向にある児童生徒の早期発見および状況の改善に向けて、保護者、関係機関との連携を含めた教育相談体制の充実

健康・安全に関する指導を通して健やかな体を育む

- ①自ら進んで運動に親しみ、健康で活力のある生活を営む資質や能力の育成
- ②教育活動全体を通じた指導による健康な体づくりの推進
- ③健康教育の充実と性に関する指導の推進
- ④安全で安心な学校給食の提供と栄養教諭等を中核とした食育の推進
- ⑤登下校を含めた安全教育の推進と安全管理の徹底
- ⑥地域の状況に応じた自然災害に備える防災教育の実施

【 指 標 】

	指 標 名	単 位	現 状	目 標
			令和4年度	令和5年度
1	鹿島の文化や歴史に興味があると回答した児童生徒の割合	学年 %	小5/62% 中1/66% 中2/33%	小5/75% 中1/75% 中2/75%

2	不登校の児童生徒数の前年度からの増加率	%	小学校：0.6% 中学校：2.1%	小学校：0% 中学校：0%
3	いじめ問題への対応に関する学校評価の状況(十分達成と評価した学校)	小中学校	9 / 9 校	9 / 9 校
4	健康に良い食事をしていると回答した児童生徒の割合	小中学校	—	小学校 80% 中学校 80%
5	地域の災害の状況に応じて、防災教育を行った学校数	小中学校	9 / 9 校	9 / 9 校

地域連携・資質向上

学校と地域の連携を強化し、地域の信頼に応える学校づくりを推進する。

学校・家庭・地域の連携

- ①学校評議員・学校運営協議会・PTAの活用と開かれた学校づくりの推進
- ②「地域とともにある学校づくり」の実現に向けた学校運営協議会の設置
- ③学校内での自己評価や、保護者や地域住民などの関係者による評価を活用した学校評価システムの定着と学校の活性化
- ④家庭・地域の教育力向上のための啓発と支援
- ⑤社会に開かれた教育課程の実現と地域の人的・物的資源の活用促進、地区公民館との連携
- ⑥学校間の連携強化と交流促進

教職員の資質向上

- ①教職員一人ひとりの教育実践についての結果責任と自覚
- ②目標設定による実践と自己評価及び改善点の策定（人事評価制度の活用）
- ③地方公務員としての自覚と使命感に支えられた服務規律の保持
- ④体罰の防止と組織的な指導体制の整備
- ⑤教職員個人の力量や学校の組織力の向上を目的とした計画的・実践的な校内研修の推進
- ⑥校内・校外における研修等への意欲的な参画と自己研鑽の奨励

【 指 標 】

	指 標 名	単 位	現 状	目 標
			令和4年度	令和5年度
1	地域との連携に関する学校評価の状況(十分達成と評価した学校)	小中学校	8 / 9 校	9 / 9 校
2	学校運営協議会の設置	小中学校	7 / 9 校	9 / 9 校
3	学力向上対策評価シートに示したマイプランを達成した教師が90%以上の学校数	小中学校	6 / 9 校	9 / 9 校

学びの環境

学びを支える教育環境の整備と充実を推進する。

物的・人的環境の整備

- ①学校備品の適正な管理と教材教具の有効活用
- ②学校施設の長寿命化事業の実施と校舎及び校地の点検・整備による適正な管理と事故防止
- ③GIGA スクール構想に基づいた ICT 教育環境の整備と活用
- ④学校図書館の施設及び環境の改善・充実
- ⑤情報セキュリティ確保の観点から学校での情報管理体制の適切な運用
- ⑥学びを支える各種支援員等の適正配置
- ⑦教職員の働き方改革の推進と理解促進
- ⑧部活動の地域移行に向けた計画の推進

【 指 標 】

指 標 名	単 位	現 状	目 標
		令和 4 年度	令和 5 年度
1 10年以上経過した電子黒板の更新	小中学校	12台	12台
2 市内小中学校のトイレの洋式化率	%	39.6%	42.6%
3 「一人一台端末を進んで活用できた」と回答した職員の割合	%	62%	75%
4 「一人一台端末を授業準備の短縮に繋げることができた」と回答した職員の割合	%	44%	50%
5 部活動の地域移行に向けた会議の実施	回	年間3回	年間3回
6 時間外在校等時間（超過勤務時間）の状況（2月までの月平均）	時間	小学校平均 26 時間 中学校平均 38 時間	小学校平均 25.0 時間以下 中学校平均 35.0 時間以下

2 研究、研修、委託事業等の推進と現状

○ 市単独事業

(1) 各学校研究テーマ

学校名	研究教科 領域等	研究主題
鹿島小学校	全教科 全領域	主体的に学ぶ児童の育成 ～学ぶ意欲を育む授業づくりを通して～
能古見小学校	算 数	自ら学びを切り拓く児童の育成 ～アクティブに学び合う学習過程の工夫を通して～
古枝小学校	体 育	主体的に学び続ける児童の育成 ～体育科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体として捉える単元デザインの確立を目指して～
浜小学校	算 数	いきいきと主体的に自分の考えを表現する児童の育成 ～かく活動と対話的活動の工夫を通して～
北鹿島小学校	全 般	「メンタリング」を用いた教師の実践力の向上を目指して
七浦小学校	算 数	主体的に学び続ける児童の育成 ～社会科における、SDG s の視点で七浦の環境を見つめて～
明倫小学校	全 般	主体的に考え動く児童の育成 ～4つの部会の取り組みの充実を通して～
西部中学校	全 般	メンタリングの手法を用いた、教員が協働して学び続ける 仕組みづくり
東部中学校	全教科 全領域	互いを尊重し主体的に学び続ける生徒の育成 ～集団づくりと授業改善を通して～

(2) 一人ひとりを伸ばす教育推進事業

- ・ 動植物の飼育栽培、校内の環境整備、文化的事業やその他の体験活動を行うことにより、豊かな情操と教養の習得を図る。
- ・ 鹿島市福祉教育に関する条例に基づき、感性豊かな小中学生の時期に地域においてボランティア活動を行い、地域に貢献する温かい人間性豊かな人への成長を図る。
- ・ 鹿島市ふるさと人材育成支援基金条例に基づき、小中学生を対象として、活力ある地域づくりのためにふるさとの多様な自然・歴史・伝統文化・産業等を活かした人材育成事業を行う。

(3) 委託事業における教育研究会

○各種教育研究会

名 称	研究推進の重点	会長（校長）名
学力向上推進委員会	学力検査等の結果を生かした指導方法の改善・充実を行い、「確かな学力」の向上を図る。	田中 武博 (東部中学校)
いじめ・不登校対策委員会	いじめ・不登校の児童生徒の実態把握と個に応じた指導のあり方研究し、未然防止・早期発見・早期対応を図る。	松本 博紀 (古枝小学校)

(4) 鹿島市学校適応指導教室「さくら」 場所：田澤義鋪記念館

平成10年度からの委託で、学校適応指導教室を設置した。5年間の事業であり、国の補助は平成14年度まで。平成15年度から市単独事業として実施している。

① 開設期間及び時間

- ア 開設日 毎週5日間（月～金）
- イ 開設の時間 9時30分～15時
- ウ 開設の期間 1学期・前期の始業式から学年末の修了式まで

② 指導者 非常勤指導員1名、非常勤補助指導員1名

③ 基本方針

心理的・情緒的理由によって登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での基礎学力の補充や体験的活動を通して、相談・援助・指導を行う。自信や存在感を培うことにより、対人関係を改善するとともに、集団生活や学校生活に適応し、学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。

④ 具体的方針

- ア 自分自身の気持ちや考え方を大切にしながら、周りの人と生活できるように支援する。
- イ 集団の中でさまざまな体験を通して、自信や充実感が得られるように支援する。
- ウ 一人一人に応じて、活動の内容を工夫し、自立的な生活ができるように支援する。
- エ 保護者に対するカウンセリングや指導・援助を行う。
- オ 学校・家庭と専門機関等と連携を保ちながら進めていく。

(5) 日韓子ども交流事業

北鹿島小学校が姉妹校である大西初等学校との交流を通して様々な体験活動を行うことで、友情を深め合い、相互理解と信頼関係を深めていくことを目的とする。

(6) 香取市の子供たちとの交流事業

鹿島市と歴史的にも縁の深い、千葉県香取市の子供たちとの交流を通じて、ふるさと鹿島に対する愛着と誇りの涵養を図るとともに、将来にわたる友好関係を構築する。(オンラインでの交流予定)

(7) ふれあい囲碁事業

鹿島市は、日本で最初に「碁聖」といわれ、平安時代に醍醐天皇の勅命を受け、『碁式(囲碁のルールや礼式等)』を著わし、献上した僧「寛蓮」の生誕の地である。昭和27年には、寛蓮の偉業を称え、碁聖寛蓮顕彰の碑を建立するとともに、九州、山口のアマチュアNo.1を決定する「祐徳本因坊戦」を創設し、囲碁を通じてのまちづくりを行っている。

平成28年7月には、寛蓮の功績とともに幅広い世代が囲碁に親しんでいる地域性が評価され、囲碁の殿堂入りを果たすことができた。

次代を担う子供たちへの囲碁文化を継承するとともに、囲碁を打ち、お互いふれあうことにより、相手の気持ちを理解し合う心を醸成するため、ふれあい囲碁事業を実施する。

(8) 鹿島市学力向上サポーター活用事業

鹿島小学校および明倫小学校において、学習内容の定着が十分に図れていない児童のために、外部指導者(退職教職員等の社会人や地域の方、教員志望の大学生等)を活用し放課後や長期休業中に補充学習を行うことにより、基礎学力の定着と学ぶことが楽しいと感じられるよう、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図ることを目的とする。

なお、残りの5小学校(能古見、古枝、浜、北鹿島、七浦)については、学力向上支援員を1名配置し、週に1日ずつ、授業中や放課後の時間に支援が必要な児童を中心に、個別指導・少人数指導を行い、学力の定着を図っていく。

○ 国・県委託、補助事業

(1) スクールカウンセラー 【国・県の補助事業】

佐賀県スクールカウンセラー事業 【県補助事業】

① 目的

小中学校での不登校の急激な増加による教育相談の重要性に鑑み、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する専門のアドバイザーを各小・中学校に配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。

② 配置及び勤務時間

- ・ 西部中学校と東部中学校にスクールカウンセラーを各1名配置。
《西部中：年間280時間、1回当たり4時間または8時間》
《東部中：年間152時間、1回当たり4時間または8時間》
- ・ 市内7小学校に佐賀県スクールカウンセラーを2名配置。
《7校で年間420時間、1回当たり4時間》
- ・ 実情に応じ計画的にカウンセリングを行う。

③ 職務の概要

- ・ 児童生徒及び保護者のカウンセリング
- ・ カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・指導
- ・ 児童生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供

(2) スクールソーシャルワーカー活用事業 【国・県補助事業】※一部市単独事業

① 目的

学校だけでは解決できない問題に対し、家庭や関係機関等との連携をより一層強化し、問題を抱える児童生徒の課題解決を図るためにスクールソーシャルワーカーを配置し、市福祉課、児童相談所、適応指導教室、警察、要保護児童対策地域協議会、ネットワークを活用した支援を行う。

② 配置学校及び期間（年間860時間）※内230時間は市単独 市内各小中学校

③ 配置内容

- ・ 不登校（傾向）の児童生徒等、問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
- ・ 関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整
- ・ 学校内におけるチーム体制の構築・支援
- ・ 保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供、教育相談活動の支援

(3) 別室における学校生活支援事業【県補助事業】

① 目的

不登校（傾向）の生徒や保健室等へ登校する生徒、その他、悩みを抱える生徒に対する心の支援が強く求められている。このため、個に応じた支援と学習指導を通して、該当生徒のストレス軽減や集団への適応能力を育成するために、中学校内に学校適応指導教室の別室を設置し、指導員を常駐配置する。生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供し、学級への早期復帰を支援する。

② 開設期間及び時間

西部中学校内に学校適応指導教室別室を設置。

ア 開設日 月曜～金曜

イ 開設時間 午前9時～15時45分

ウ 開設時期 1学期・前期の始業式から学年末の修了式まで

③ 指導者 学校適応指導教室支援員1名

④ 具体的方針

ア 自分自身の気持ちや考え方を大切にしながら、周りの人と生活できるように支援する。

イ 個別の学習や集団の中での体験を通して、自信や充実感が得られるように支援する。

ウ 一人一人に応じて、活動の内容を工夫し、自立的な生活ができるように支援する。

エ 学校・家庭と専門機関等と連携を保ちながら進めていく。

オ 別室担当職員が、学校適応指導教室「さくら」との連携・相談を中止になって行う。

カ 学校復帰した生徒が再び不登校に戻らないように自立をうながす。

⑤事業期間 1年間

(4) 佐賀県研究指定校【県委託事業】

① 目的

小学校、中学校に関する課題について、県教育庁学校教育課が定めた教育課程について実践研究を行い、その成果を公表することによって、児童生徒の個性と創造性を育み、生きる力を培うとともに、教職員の資質向上を図ることを目的とする。

② 実施校及び期間

・能古見小学校（算数科） R4～5年（2年間）

・七浦小学校（SDGs） R5～6年（2年間）

(5) 放課後等補充学習支援事業【国・県補助事業】

① 目的

学習内容の定着が十分に図れていない生徒のため、地域の人材（退職教職員等の社会人や保護者、教員志望の大学生等）を活用し、放課後や長期休業中に補充学習を行うことにより、基礎学力の定着と学ぶことが楽しいと感じられるよう、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図る。

② 実施校及び期間

西部中学校・東部中学校 1年間

(6) 令和の日本型学校体育構築支援事業【国・県委託事業】

① 目的

課題がみられる領域や中学校における武道及びダンスについて、専門的な知識や技能を有する授業協力者と連携した授業を実践することで、教員の指導力向上や授業の充実を図る。

② 実施校及び期間

・外部指導者活用校 未定（6～7月決定） 6月～1月実施

(7) 部活動指導員活用事業【県補助事業】

① 目的

中学校の部活動顧問教員負担軽減と生徒の多様なニーズに対応した指導体制の充実を図るために、部活動指導員を配置し、その有効性について実践研究を行い、成果や課題を検証する。

② 配置校・配置人数及び期間

西部中学校 2名

東部中学校 2名

期間：令和5年5月15日～令和6年3月10日

③ 勤務時間

支援員1名につき、年間195時間

④ 職務の概要

※ 校長の指揮管理下、次の職務を行う。

ア 部活動の練習、大会、発表、練習試合等における生徒の引率及び指導

イ 部活動の管理運営、用具、施設等の点検、管理

ウ 保護者との連絡

エ 部活動中の生徒指導

オ 部活動中に係る活動で事故が発生した場合の対応（応急手当、救急車の要請、医療機関への搬送、保護者等への連絡、教職員への報告等）

市内小中学校

1 鹿島市立鹿島小学校

鹿島市大字高津原231番地のイ TEL63-5255

(1) 地域の特徴

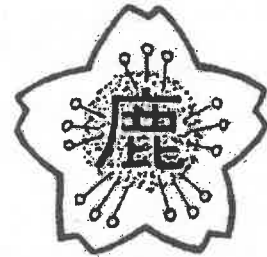
南西部の丘陵地帯では、みかんの生産が盛んだったが、近年住宅地として発展しつつある。また、丘陵の奥には市の陸上競技場や公園が整備されている。南東部は中川の扇状地として耕地が多かったが、このあたりも住宅が増えてきた。北東部は、干拓地を中心とした水田地帯である。国道207号線を中心にした近くの県道沿いが市の中心街となっている。

教育への関心は一般に強く、学校教育にはたいへん協力的である。PTA活動やスポーツ少年団の育成指導にも熱心で成果を上げている。児童の通学は、高津原以外は大部分が平地のため便利であり、距離的にも2km以内が大部分である。

豊かなり 育ちゆく 有明の 潮風あびて	多良が嶺をはるかに仰ぎ	桜咲く 鹿島の里に	校歌 われらのいのち
われらのいのち			

(2) 学校の沿革

- ・ 明治18年10月：高津原、重ノ木、行成の3小学校を合併し、現在地に校舎を新築し立教小学校と命名開校
- ・ 昭和59年10月：創立100周年記念事業
同年12月：校門「はばたきの門」除幕式
- ・ 平成4年11月：中庭(多目的広場)落成
- ・ 平成6年12月：創立110周年記念事業遊具設置
- ・ 平成14年1月：交通安全国民運動全国表彰
- ・ 平成22年11月：北校舎改築完成
- ・ 平成26年10月：創立130周年記念事業
- ・ 平成27年2月：体育館改修工事完了
- ・ 平成29年4月：学校運営協議会(コミュニティースクール)発足
- ・ 平成29年8月：管理棟大規模改造工事完了
- ・ 平成30年10月：はばたきの門改修工事完了
- ・ 令和元年10月：鹿島小学校防犯ボランティア鹿島市教育委員会表彰受賞
- ・ 令和3年10月：鹿島小学校防犯ボランティア全国奨励賞受賞



校章

(3) 学校の教育目標

いのち輝く 鹿島っ子の育成

(4) 教職員及び児童数

校長 橋本 良子 (第40代)

職員：教頭1人 教諭24人 講師2人 養護教諭1人 事務主任1人

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休暇者代替者等を含む

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
児童数(人)	45	61	47	55	42	62	21	333
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15

(5) 教育研修計画

○ 研究主題

「主体的に学ぶ児童の育成」
～ 学ぶ意欲を育む授業づくりを通して～

2 鹿島市立能古見小学校

鹿島市大字山浦甲2246番地

TEL63-3983

(1) 地域の特徴

本校区は、面積が56.7km²あり、市の総面積の半ばに達するが、その9割は多良山系に属する山間部にある。

昭和55年度までは4つの分校を持っていたが、昭和56年度に山浦・本城・中川内の3分校が廃校となり、平成30年に浅浦分校が廃校となった。

住民の教育に対する関心は高く、PTA活動や地域との連携活動は活発である。ただ、バスや自家用車で通学する児童や3km以上の徒歩通学児童も在籍し、交通事故防止や安全確保等、教育上特に配慮が必要である。

大きく架けむ	虹の橋	明日を創ると	能古見の児	多良岳の	緑こき	校歌
				高き理想よ	山々の上に	

(2) 学校の沿革

- ・ 明治25年7月:村内各所に至る次の学校を一括して能込尋常小学校と改称する。(創立)

1 尋常知心学校 2 尋常勿謂小学校 3 本城簡易小学校
4 山浦簡易小学校 5 平原簡易小学校

- ・ 昭和30年11月:校歌制定 作詞 橋本野醉 作曲 小山章二

- ・ 昭和31年 3月:浅浦分校新築落成
- ・ 昭和56年 3月:百周年記念式典・百周年記念庭園完成
- ・ 昭和56年 3月:本城、山浦、中川内の3分校閉校
- ・ 平成19年 7月:教室棟大規模改修工事完了
- ・ 平成20年 7月:管理棟大規模改修工事完了
- ・ 平成25年 1月:体育館耐震・大規模改造工事完了
- ・ 平成30年 3月:浅浦分校 閉校
- ・ 令和 4年11月:130周年記念式典



校章

(3) 学校の教育目標

かしこく・正しく・たくましく 共に伸びゆく能古見っ子の育成

(4) 教職員及び児童数

校長 山口 高弘 (第48代)

職員:教頭1人 指導教諭1人 教諭9人 講師1人 養護教諭1人 養護助教諭1 主事1人

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休暇者代替者等を含む

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
児童数(人)	17	30	22	23	29	24	7	152
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8

(5) 教育研修計画

- 研究主題

自ら学びを切り拓く児童の育成
～アクティブに学び合う学習過程の工夫を通して～

3 鹿島市立古枝小学校

鹿島市古枝甲1248番地の2 TEL62-3702

(1) 地域の特徴

純朴、勤勉、親切な人柄で古枝地区としての融和が保たれて地区全体がよくまとまっている。地域の教育への関心は高く、特にPTA・地域コミュニティ等の組織をあげての学校への協力、援助は積極的である。

山間へき地の児童も多く、バス通学をしている児童も在籍している。

校 歌	多良岳を 朝夕あおぎ 胸の血は 希望にもえて はげみ合い 生い立つところ 古枝は われらの郷よ
--------	----------------------------------------------------------------

(2) 学校の沿革

- ・ 明治 8年 : 八本木小学校古枝分校を光明に設置し、下等小学校を置く。
- ・ 明治18年 : 奥山分校開校
- ・ 明治28年 5月: 古枝尋常小学校と改称
- ・ 昭和29年 4月: 市町村合併により鹿島市立古枝小学校と改称
- ・ 昭和47年 3月: 奥山分校閉校
- ・ 昭和50年12月: 開校100周年記念式典
- ・ 平成10年 : 体育館耐震補強工事完了
- ・ 平成29年 8月: 北校舎(教室及び特別棟)大規模改修工事完工 校章
- ・ 令和元年 9月: 管理棟大規模改修工事完工
- ・ 令和4年11月: 第53回博報賞受賞



(3) 学校の教育目標

かがやけ! 「古枝スピリッツ」
 ~ “やる気・優しさ・元気”いっぱい ~

(4) 教職員及び児童数

校長 松本 博紀 (第51代)

職員 : 教頭1人 教諭14人 講師1人 養護教諭1人 事務主任1人

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休暇者代替者等を含む

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
児童数(人)	22	20	31	34	30	37	18	192
学級数	1	1	1	1	1	1	4	10

(5) 教育研修計画

○ 研究主題

主体的に学び続ける児童の育成

～体育科における「個別最適な学び」と「協同的な学び」を一体として捉える単元デザイン的确立を目指して～

4 鹿島市立浜小学校

鹿島市浜町1239番地 Tel62-2444

(1) 地域の特徴

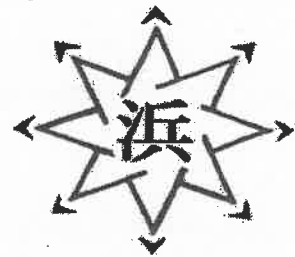
以前は八本木村と称して、古枝と合体して村をついていた時代もあった。現在は鹿島市の東南部に位置して南東に七浦、南西に古枝、西北は鹿島に接し、北は有明海に臨み、浜川を中心に人家が集まり、町を形づくっている。古くから浜即ち港町として、かつて藤津郡唯一の物資の集散地として発達してきたところである。豊かな自然を有し、肥前浜宿酒蔵通りや茅葺き屋根の旧町並みを生かした地域おこしも盛んである。

教育への関心は全体的に高く、協力的であり、少年スポーツクラブの育成強化にも熱心である。校区の面積が狭いため、通学距離はほとんど2km以内である。

校 歌	朝あさ あき 仰ぐ 多良岳の 高き にのぼる わが ねがい われら 浜の子 光の子 若芽の びのび 競い 立ち のぞみ 大きく 掲げ よう
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 学校の沿革

- ・ 明治 6年11月:新町幽照寺にて教育開始
- ・ 明治11年 3月:八本木小学校と称す
- ・ 明治13年 6月:浜小学校と改称
- ・ 昭和22年 4月:浜町立浜小学校と改称
- ・ 昭和45年 2月:校舎新築落成
同年 7月:プール落成
- ・ 昭和51年 2月:創立100周年記念式典
- ・ 昭和60年12月:新校舎完成
- ・ 平成 9年 8月:北校舎大規模改修工事完了
- ・ 平成21年10月:体育館耐震補強工事完了
- ・ 平成30年 4月:文部科学大臣表彰「読書教育」
- ・ 令和3年 4月:学校運営協議会発足
- ・ 令和5年 2月:体力向上優良校に対する県教育長表彰



校 章

(3) 学校の教育目標

ふるさと愛する・光の子の育成

(4) 教職員及び児童数

校長 小川 康夫 (第52代)

職 員：教頭1人 教諭11人 講師3人 養護教諭1人 主事1人

学校栄養職員1人

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休暇者代替者等を含む

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
児童数(人)	20	16	17	21	20	18	13	125
学級数	1	1	1	1	1	1	4	10

(5) 教育研修計画

○ 研究主題

「いきいきと主体的に自分の考えを表現する児童の育成」
～かく活動と対話活動の工夫を通して～

5 鹿島市立北鹿島小学校

鹿島市大字常広420番地 Tel62-4075

(1) 地域の特徴

鹿島市中心の北部に位置し、校区全域が塩田川と鹿島川にはさまれ低地な平野になっている。有明海に近い地域は干拓による新田で、大雨が降れば冠水しやすく排水が不良である。校区内には、国道207号線が横断し、平成15年の鹿島バイパス全面開通により、鹿島の「北の玄関口」として発展が期待されている。また、校区全域が平坦地であり、全児童の通学距離も3km以内で便利である。

「ふるさとまつり」に代表されるように地域的なつながりが密接で、心のふれあいを目的とした行事に各団体が参加し、地域の伝統行事がきちんと受け継がれている。

深い知識を 究めよう	史にゆかりの 学び舎に	峰より高い わが希望	遙かに仰ぐ 多良岳の	校 歌
---------------	----------------	---------------	---------------	--------

(2) 学校の沿革

- ・ 明治 7年: 下等常廣小學校を神明宮社務所に設置
- ・ 明治 8年: 下等森小學校を森五ノ宮社務所に設置
- ・ 明治13年: 乙丸に下等乙丸小學校を新築
- ・ 明治20年: 古城に校舎新築、24年尋常乙丸小學校と改称
- ・ 明治33年: 鹿島尋常小學校と改称
- ・ 明治34年: 北鹿島尋常小學校と改称
- ・ 明治36年: 現在地(旧鹿島藩古城跡)に校舎を新築
- ・ 大正元年: 鹿島尋常高等小學校と改名
- ・ 昭和22年: 鹿島村立鹿島村小學校と改称
- ・ 昭和29年: 市制により鹿島市立北鹿島小學校と改称
- ・ 昭和52年: 創立100周年記念式典
- ・ 昭和63年: 新校舎落成記念式典(県内初のオープンスクール)
- ・ 平成22年: 日韓子ども交流事業開始、韓国「大西初等學校」との姉妹校締結
- ・ 平成23年11月: 体育館耐震補強工事完了
- ・ 平成28年: プール改築工事完了
- ・ 令和 3年: 学校運営協議会発足
- ・ 令和 5年: 赤門補修工事



校章

(3) 学校の教育目標

「命 ひびきあい」

- ★児童一人ひとりが可能性を広げ、生き生きと自分のよさを発揮している姿
- ★学び合いながら、互いの良さを認め、それぞれの感性をひびき合わせている姿
- ★自尊感情を持ち、友だちの良いところに気づき、たたえる姿

(4) 教職員及び児童数

校長：池田 直人 (第36代)

職員：教頭1人 教諭11人 講師1人 養護教諭1人 主事1人

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休暇者代替者等を含む

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
児童数(人)	34	21	34	16	30	24	10	169
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8

(5) 教育研修計画

○ 研究主題

「メンタリング」を用いた教師の実践力の向上を目指して

6 鹿島市立七浦小学校

鹿島市大字音成戊1563番地 Tel62-8821
音成分校:鹿島市大字音成乙4352番地 Tel62-4607

(1) 地域の特色

東に有明海、西に多良岳を眺望する風光明媚な丘に建つ。主として農・漁業を営み住民の人柄は勤勉、素朴で人情味があり、親しみやすい。保護者や地域住民の学校教育に対する期待や関心は高く、朝の交通指導には、地区をあげて取り組みがなされる等、学校教育に対して理解がありとても協力的である。

校 歌

永久のしじまを
まもりつつ
姿けだかき
多良の嶺の
山の力を 身にうけて
強く雄々しく
生いゆかん

(2) 学校の沿革

- ・ 明治7年:音成尋常小学校(音成名福泉寺を東校、母ヶ浦宝聚寺を西校)として発足
- ・ 明治37年4月:飯田・音成分教場設立
- ・ 明治37年4月:七浦尋常高等小学校設立
- ・ 昭和22年4月:学制改革により七浦小学校と改名
- ・ 昭和30年:鹿島市立七浦小学校と改名
- ・ 昭和49年6月:創立100周年記念式典
- ・ 昭和55年3月:校舎・体育館落成式
- ・ 昭和59年1月:光武文庫10周年記念庭園完成
- ・ 平成 2年4月:音成分校落成式
- ・ 平成15年8月:北校舎耐震及び大規模改造工事完了
- ・ 平成17年8月:南校舎大規模改造工事完了
- ・ 平成26年2月:体育館耐震及び大規模改造工事完了
- ・ 令和3年11月:鹿島市教育委研究大会 研究発表会(道徳)



校 章

(3) 学校の教育目標

一人ひとりの子どもの個性を磨き、しなやかにたくましく生きる子どもの育成

校訓: 心豊かにたくましく

(4) 教職員及び児童数

校長 西川 信一郎 (第49代)

職 員 : 教頭1人 教諭10人 講師 1人 養護教諭1人 主査1人

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休暇者代替者等を含む

令和4年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
本校児童数(人)	14	12	11	21	22	16	4	100
分校児童数(人)	6	6						12
学級数	2	2	1	1	1	1	2	10

計112人

(5) 教育研修計画

○ 研究主題

「主体的に学び続ける児童の育成」

～社会科における、SDGsの視点で七浦の環境を見つめて～

7 鹿島市立明倫小学校

鹿島市大字納富分甲59番地 Tel.62-5252

(1) 地域の特徴

町の中央部を南北に中川が流れ、鹿島川と合流して有明海に注いでいる。この中川を境に鹿島小学校区と分離し、校区のほぼ中央部に明倫小学校が新設された。校区の南部は、中川の扇状地として耕地が多かったが、近年、団地など住宅が増え、宅地化が進んでいる。北部は、干拓地を中心とした水田が広がっている。校区内には、市役所や西部中学校がある。

地域の教育への関心は一般に高く、学校教育にはたいへん協力的である。児童の通学の点では、平地のために便利であり、通学距離もほとんどの児童が3km以内で恵まれている。

校 歌	古の ゆかりの 里の	藤の 森	歴史 伝える ふるさとに	みどりの 風が ふきわたる	輝くひと み みなぎる 力	はげめよ われら 鹿島 明倫
--------	------------------	---------	--------------------	---------------------	------------------------	-------------------------

(2) 学校の沿革

- ・平成 3年:明倫小学校開校式
- ・平成 3年:落成記念式典・祝賀会
- ・平成 9年:才能開発実践教育賞受賞
- ・平成13年:開校10周年記念式典
- ・平成23年:開校20周年記念式典
- ・平成24年:学校運営協議会(コミュニティ・スクール)発足
- ・平成27年:体育館天井耐震工事完了
- ・令和 2年:管理・特別教室棟 大規模改修完了
- ・令和 3年:教室等 大規模改修完了 開校30周年記念式典



校 章

(3) 学校の教育目標

「いい顔 いい声 いい動き」の明倫っ子の育成
やる気と優しさいっぱい顔・元気なあいさつ・返事の声・自分で考え、正しく判断した動き

(4) 教職員及び児童数

校長 武富 貞祐(第12代)

職 員：教頭2人 指導教諭1 教諭21人 講師1人 養護教諭1人 主査1人 栄養教諭1人

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休業者代替者等を含む

令和4年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
児童数(人)	70	69	68	63	82	65	27	444
学級数	2	2	2	2	3	2	4	17

(5) 教育研修計画

○ 研究主題

「主体的に考え動く児童の育成」
～4つの部会の取り組みの充実を通して～

8 鹿島市立西部中学校

鹿島市大字納富分1435番地 TEL62-1211

(1) 地域の特徴

南北16km、東西9km、面積120km²、多良岳山系を起点として、中川、塩田川のほとりに発達した扇形の沖積平野で、海岸線に沿ってJR長崎本線、国道207号と国道444号が走っている。行政、経済、交通の中心で官庁、金融機関等が多く、商工業も盛んである。また、周辺地区では農業の立地条件もよく、水田、果樹の栽培が盛んである。

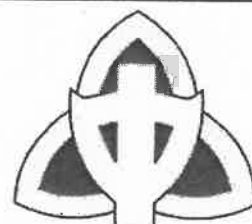
教育施設や文化的諸機関も充実、整備されている。保護者の家庭教育や文化に対する関心が高く、生徒の向上心も高い。

校 歌

鹿島の里の 琴路岳
つね あたたかき さみどりの
清き ひかりを 仰ぎつつ
学ばむ 月日 幸くあれ
あゝ われらの鹿島 西部中学校

(2) 学校の沿革

- ・ 昭和50年 4月：能古見・鹿島・北鹿島の3中学校を統合し、鹿島市立西部中学校と称する。
- ・ 昭和51年 8月：プール完成
- ・ 昭和52年 3月：校歌制定
- ・ 平成 7年 2月：創立 20 周年記念式典、
語らいの広場(トークプラザ) 竣工
- ・ 平成17年 2月：創立 30 周年記念式典
- ・ 平成24年 8月：北校舎南校舎耐震補強工事完了
- ・ 平成25年 8月：中校舎耐震補強工事完了
- ・ 平成25年11月：国立教育政策研究所委嘱「魅力ある学校づくり調査研究事業」発表
- ・ 平成26年 8月：体育館耐震補強工事完了
- ・ 平成26年11月：創立 40 周年記念講演会
- ・ 平成27年10月：教室棟空調設備工事完了
- ・ 平成30年 9月：柔道場・第2体育館天井耐震化工事完了
- ・ 令和 3年 8月：一人一台 PC 配備



校 章

(3) 学校の教育目標

豊かな心をもち 自ら学び たくましく生きる生徒の育成

(4) 教職員及び児童数

校長 吉牟田 一広 (第22代)

職 員：教頭1人 統括事務長1人 主幹教諭1人 指導教諭2人 教諭30人 講師4人
養護教諭1人 養護助教諭1人 主事2人

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休業者代替者等を含む

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援学級	計
生徒数(人)	181	144	168	23	516
学級数	5	4	5	5	19

(5) 教育研修計画

○ 研究主題

メンタリングの手法を用いた、教員が協働して学び続ける仕組みづくり

9 鹿島市立東部中学校

鹿島市浜町甲4020番地 TEL63-5245

(1) 地域の特徴

東は有明海に面し、西は多良岳・経ヶ岳の高峰に達しており、矢筈(標高400m)を基点として扇状の波状平原をなしている。鹿島市面積の約40%を占める地区である。郷土芸能の面浮立は代々大切に受け継がれている。産業は多良岳山系と有明海のもつ資源を基盤として構成され、第一次産業に依存する比重がきわめて大きい。

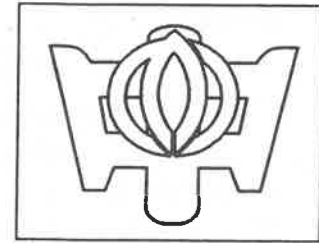
勤勉にして、純朴・親切で、義理人情に厚い。子どもクラブ、青年団等の活動が盛んで、PTA役員の学校に対する協力・援助は積極的である。

校 歌

雄々し多良岳
われらの象徴
つどう若人意気高らかに
創る伝統日々新しく
知性をみがく栄ある母校
おお 鹿島市東部中学校

(2) 学校の沿革

- ・ 昭和35年4月:古枝・浜・七浦の3つの中学校を統合し鹿島市立東部中学校と称する。
- ・ 昭和42年 7月:体育館新築落成式
- ・ 昭和48年 8月:50mプール落成
- ・ 平成元年 1月:「合い服」制定
- ・ 平成 7年12月:校花「コスモス」制定
- ・ 平成 9年:公立中学校県内初海外(韓国)への修学旅行
- ・ 平成11年:全日本中学校軟式野球大会優勝
- ・ 平成15年11月:優良PTA文部大臣賞
- ・ 平成22年 3月:プール改修(25m)
- ・ 平成25年 9月:新教室棟建設工事スタート
- ・ 平成26年12月:新校舎「南棟」落成式
- ・ 平成27年11月:体育館耐震・大規模改造工事完了
- ・ 平成29年9月:武道場天井改修工事完了
- ・ 令和3年3月:一人一台PCの設置



校 章

(3) 学校の教育目標

郷土を愛し 健やかな心身を育み ともに伸びる

(4) 教職員及び児童数

校 長 田中 武博 (第31代)

職 員: 教頭1人 事務長1人 教諭20人 講師1人 養護教諭1人 栄養教諭1人
主査1人

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休業者代替者等を含む

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援学級	計
生徒数(人)	56	66	71	13	206
学級数	2	2	2	4	10

(5) 教育研修計画

○ 研究主題

「互いを尊重し主体的に学び続ける生徒の育成」
～ 集団づくりと授業改善を通して ～

1 令和5年度 鹿島市社会教育方針

鹿島市教育委員会

I 基本方針

市民一人ひとりに学べる環境の整備と機会の提供を行い、生きがいやまちづくりに活かすことができるよう社会教育関係団体と連携・協働し生涯にわたり学習していく社会づくりを行うこととします。

また、公民館活動による地域課題の解決やコミュニティ支援を行うとともに、社会教育の推進と文化・スポーツの振興を図り、誰もが学べる環境づくりを目指します。

II 重点目標

- 鹿島城大手門の保存修理工事の実施
- 生涯学習センター、エイブル及び図書館指定管理の指定に向けた手続き
- OSAGA 2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備とリハーサル大会の実施
- 鹿島市民文化ホールの運営開始及びオープニングイベントの実施
- 鹿島市ふるさと資料館での民俗・文化・芸術・歴史等の郷土資料の効率的な展示

III 施策

(1) 社会教育の推進

- ①生涯学習センター・市民図書館を、学び・交流・情報の拠点とした、市民が主役の生涯学習の展開
- ②年代を問わず市民の多彩なニーズに基づく様々な学びの機会を提供
- ③社会教育関係団体との連携の強化、活動の支援、団体育成
- ④ふるさとの豊かな自然や地域資源などを活かした体験活動の充実
- ⑤学校、家庭、地域が連携・協働した教育活動の推進
- ⑥公民館の社会教育施設としての機能強化と、地域づくりの拠点としての活動強化
- ⑦社会教育施設の適正な維持・管理
- ⑧図書館の利用促進、特に新規利用者の獲得・開拓に向けた事業展開
- ⑨人権・同和問題に関する教育・啓発活動の推進
 - ・学校、地域社会、企業・事業所における人権・同和問題教育、啓発の推進
 - ・同和問題をはじめとする多様化した人権問題に関する啓発活動の充実

(2) 文化の振興

- ①社会教育や学校教育の場で、郷土の歴史や文化の再発見や再認識に向けた取り組み
- ②地域の文化財の調査による、総合的な把握と必要に応じた指定
- ③指定文化財などの、歴史的・文化的資産の適切な維持管理
- ④地域の民俗芸能や祭礼行事、伝統工芸などの保存継承活動の支援
- ⑤郷土資料の収集と保存をし、ふるさと資料館での展示を通じた利活用の推進
- ⑥文化芸術に関する講演会、展示会、講座の開催と、市民の活動発表の場の提供
- ⑦鹿島市民文化ホールの整備による生涯学習センター（エイブル）と連動した市民文化交流の場の提供

(3) スポーツの振興

- ①総合型地域スポーツクラブ「スポーツライフ・鹿島」の育成、支援
- ②スポーツ施設の適正な維持・管理
- ③スポーツイベントの誘致およびスポーツ合宿の推進
- ④SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の周知と実施競技の普及
- ⑤スポーツ施策の総合的指針となるスポーツ推進計画（仮称）の策定

2 社会人権・同和教育事業

(1) 社会人権・同和教育の基本方針

人権とは人が生まれながらにして持っている基本的自由と権利のことで、すべての人が幸福な人生を送るために欠かすことのできないものであり、現在だけでなく将来にわたって保障されるべき権利といえる。

学校、家庭、職場、地域などあらゆる場においてすべての人々の人権が尊重・擁護され、差別のない明るい社会を形成するため、人権意識の高揚に取り組んでいく。

部落差別（同和問題）は、日本社会の歴史的過程で形成された身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれることを強いられ、同和地区と呼ばれる地域の出身者であることなどを理由に結婚を反対されたり、就職などの日常生活の上で差別を受けたりするなどしている日本固有の人権問題である。

同和問題の早急な解決は、行政の責務であると同時に、国民的課題として、市民一人ひとりが自らの課題としてとらえ、正しい理解と認識を深めていくための教育、啓発に取り組んでいく。

「鹿島市部落差別撤廃・人権擁護に関する条例」（平成7年施行）、「鹿島市人権教育・啓発基本方針」（平成31年策定）に基づいて、人権教育・同和対策に関する諸施策を総合的に推進し、人権・同和問題の解決へ、一層の効果的な人権教育・啓発に努める。

(2) 社会人権・同和教育の具体的方針

- 1 すべての市民が、人権・同和問題について正しく理解・認識し、自らの課題としてその早期解決に努めるよう人権・同和教育を推進する。
- 2 出前講座や各種の教室・講座・サークル等あらゆる学習活動の機会を活用し、また、地区や自治公民館へ積極的に出向きながらあらゆる差別の撤廃に向けた人権・同和教育と啓発活動を推進する。
- 3 人権・同和問題に対する深い理解と正しい認識をもち、熱意と実践力を兼備した人材の育成と活用を目標に、正しい人権感覚を身に付けた指導者の確保に努めるとともに、地域推進員の養成と企業内における人権・同和啓発推進者の発掘・研修を行う。

(3) 社会人権・同和教育の具体的活動

- 1 中央公民館及び地区公民館等が主催する出前講座や各種の教室・講座・サークル等あらゆる学習機会をとらえ、人権・同和教育のカリキュラムを組み入れて実施する。
- 2 人権学習会、地区別懇談会、人権・同和問題学習会（各種団体等）、同和問題講演会の開催や児童・生徒の人権作文・標語等の展示を実施する。
- 3 家庭・学校・地域社会の連携の中での人権・同和教育の推進と情報提供や啓発に努める。
- 4 関係団体の意見を把握し、生活・文化の向上のために各種の教室等を実施する。
- 5 市政を担う市行政関係者の一人ひとりが豊かな人権感覚を身に付け、人権・同和問題解決の先駆的役割を果たせるよう研修に努める。
- 6 教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児・児童・生徒の人権意識の高揚を図るとともに、社会教育関係者と連携し人権・同和教育と啓発に努める。
- 7 DVDなどの視聴覚教材は、疑似体験的効果が高く学習教材に適しているため、教材内容を吟味し、より効果的に活用しながら市民の啓発を推進する。
- 8 広報誌、パンフレット、チラシ等は、読む人の意識や感性に十分配慮した内容とし、より効果的な教育・啓発活動を展開する。
- 9 国・県・各種関係機関や団体が有機的に役割を分担しながら、企業及び各種団体等への情報の提供や支援を通して人権啓発の効果的推進に努める。
- 10 人権に関するさまざまな悩みや相談などに対応するため、人権擁護委員等との連携強化に努める。

(4) 人権・同和教育施策

人権・同和教育啓発活動の積極的推進	1 教育啓発活動の推進	(1) 公民館を中心とした啓発活動 (地区別懇談会・教室・講座・サークル) (2) 広報誌・チラシ等による啓発活動
	2 地区内における学習活動の推進	(1) 文化・教養講座の充実 習字・ペン習字・生け花教室
	3 社会教育関係団体及び企業での取り組み強化	(1) 社会教育団体・老人会などでの人権・同和問題研修の実施 (2) ハローワーク及び各企業との連携と研修の推進
	4 指導者の養成及び研修	(1) 区長・地域推進員等の研修の推進 (2) 研修会・講演会などへの積極的参加

3 社会教育・生涯学習主要事業計画

※随時開催の会議・研修・イベントは等は省略

事業名	開催期日	内容	関係団体
インリーダー研修会	6月 10～11日	各地区の児童会長等を対象に、集団活動や体験活動を通じて、子ども会活動におけるリーダーを育成する研修を行い、子ども会の活性化を図る。あわせて、育成者の研修を行なう	子ども会連絡協議会
球技大会	7月23日	市内6地区子ども会代表による、ドッジビー、ドッジボール、ミニバレーの球技大会を開催し、会員の健全育成と地区間の親睦と協調を図る	子ども会連絡協議会
夏休み作品展	展示 9月 16～28日	長期にわたる夏休み期間中に、子ども達が製作した習字・図画・工作の作品を募集し作品展示する	子ども会連絡協議会
地域環境点検活動	11月	地域内の店舗における有害図書や酒・たばこ類の区分陳列等、青少年健全育成に関する取組状況を点検し、青少年にとって有害な地域環境の浄化改善を図る	青少年育成市民会議
65歳盛年の集い	12月上旬	当該年度に65歳を迎える方々が一堂に会し、自己の生き甲斐を新たな気持ちで見つめ、新しい理想を求めて、自己研鑽と鹿島市の更なる創造発展のために寄与する心意気を振興する	実行委員会
鹿島市二十歳の集い	1月7日	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を鹿島市全体で祝い励ますとともに、「ふるさと鹿島」に対する郷土愛を高め、共に喜びを分かち合うために開催する	
少年の夢発表会(PTA活動合同発表会)	2月上旬	子どもたちの健全育成のため、将来の夢や、日頃考え、感じている事を広く市民に発表するとともに、PTA活動の事例発表を通して学校・家庭・地域との関わりあいについて理解・認識を深めてもらう	青少年育成市民会議
みんなの集い	3月3日	男女共同参画社会づくりに向け、市内各種団体間の融和を図りながら、市民に向けた活動成果の発表や、作品の展示・即売等の交流を通して相互理解と資質の向上を図る	実行委員会
まちづくり出前講座	通年 4月～3月	誰もが学べる環境を提供するため、各種団体やサークル、学校へ講師を派遣する。「計画・制度」「都市基盤」「環境」「産業・交流」「安全・安心」「教育・文化・スポーツ」「健康・保健」の7テーマ、全55メニューを準備している	
体育館開放事業	通年 5月～3月	子どもの安心・安全な居場所づくりと、遊び場を提供するために、市内の体育館を無料開放する(浜・臥竜ヶ岡体育館) ※長期休業中を除く	
ヒカルの基鹿島スクール	通年 6月～3月	児童生徒の土曜日の生活を有意義なものとするために、鹿島出身の基聖寛蓮ゆかりの「囲碁」への理解と興味を深め、あわせて礼儀作法も学ぶ	基聖寛蓮顕彰会
子ども体験塾	通年 5月～3月	子ども達の「生きる力」と豊かな心を育むため、「自然体験」・「ふるさと体験」・「家庭教育」を3本柱とした、ふるさとの豊かな自然と歴史や文化、地域資源を活かした、体験活動を実施する	実行委員会

4 文化の振興及び文化財の保護

1 現状と課題及び基本方針

地域特有の文化は、歴史・地理・伝統文化・文化財・景観・人物、その他さまざまな要素を背景として構成され、成立している。これらは、地域のアイデンティティであり、鹿島市独自の個性あふれるまちづくりには、欠かすことのできないものである。

そのためには、市民一人一人が、ふるさとの歴史や文化を知り、愛着や誇りを持つことが重要で、さらに市民と行政が一体となって、地域の個性を再認識し、活かす努力が必要である。

また、鹿島にとって特に重要な文化や文化財を認識したうえで、市民に広く普及啓発し、保存あるいは育成を図り、まちづくりなどにも積極的に活用していくように努める必要がある。

2 具体的な取り組み

(1) 文化財の保護と活用

鹿島市内には現在、国・県・市の指定文化財と国の登録文化財が合計 78 件あり、これらに代表される文化財について、市民等に広報し普及啓発をすすめ、必要に応じて鹿島城赤門及び大手門等の修理・修復などの維持管理に努める。さらに、鹿島市文化財保護審議会のなかで、文化財について調査・審議等をし、ふるさとの新たな文化財を掘り起こしていく。

埋蔵文化財については、公共工事や民間開発に先立って確認調査を実施するなど、土地に埋蔵されている遺跡などの把握につとめる。またやむなく破壊される遺跡については、保護、もしくは記録したうえで活用を図る必要がある。

(2) 伝統的建造物群の保存

鹿島城跡とその城下、肥前浜宿の街並み、さらに各地に点在するクド造りを代表とした草葺民家など、市内には独自の景観が残されている。鹿島市では、独自の歴史と風土に育まれた歴史的景観を保存活用するために、平成 15 年度に「鹿島市歴史的景観条例」を制定した。

肥前浜宿においては、平成 18 年に「浜庄津町 浜金屋町」「浜中町 八本木宿」の 2 地区が、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。現在「肥前浜宿継場」や鹿島市重要文化財「旧乗田家住宅」などを拠点としたまちづくりの活性化に加え、伝統的建造物の保存修理と防災事業・街なみ環境整備事業を推進している。このほか、景観条例を補完する形で、国の登録文化財制度や佐賀県遺産制度なども活用し、地域の景観に寄与している建物を保全する。

(3) 伝統文化の振興と後継者の育成

市内には、面浮立に代表される民俗芸能が今なお数多く伝承されており、県内でも有数の民俗芸能の宝庫である。また、国重要無形文化財の「木版摺更紗」や、鹿島錦・浅浦甚八笠などの伝統工芸も継承されている。

当市では、官民を問わず様々な補助事業などを活用しながら、用具の整備・後継者の育成・保存記録作成などを支援している。各団体のさらなる伝承活動の充実については「かしま伝承芸能フェスティバル」「佐賀県伝承芸能祭」などの市内外の芸能祭に出演するなど、積極的に発表の場を提供・活用する。

(4)ふるさと教育の充実

ふるさとの歴史や文化、または先人の偉業を次世代に語り継ぎ、だれもが鹿島の歴史を知り、愛着や誇りを持つためには、ふるさとについての学習の機会を設ける必要がある。

このために、文化財ガイドブックや、ふるさとの歴史を歩く冊子、エイブル床の間コーナー等を活用し、ふるさとに関する学習や再発見を行ない、その他にも出前講座などで必要に応じて随時、学習の機会を提供する。

(5)芸術文化に気軽にふれあうことのできる環境整備

地域文化と共に、芸術文化活動を活発にすることも重要である。そこで、優れた芸術を気軽に体験し学習できる機会を提供し、また身近で数多く鑑賞・発表できる環境を整備する。このことで芸術文化に親しむ人口を増やす施策が求められる。

そのために、鹿島市生涯学習センター・エイブルを運営する「鹿島市民立生涯学習・文化振興財団」と連携・協力しながら、芸術文化の振興と市民が主体となった文化活動の充実に努める。また、市内各種文化団体の集まりである「鹿島市文化連盟」の活動や「鹿島市文化祭」を支援し、芸術文化の振興を図る。

また、令和5年9月には旧鹿島市民会館跡地に「鹿島市民文化ホール」と「鹿島市ふるさと資料館」が開館する。これらの施設を「まちの晴れ舞台」として、文化芸術活動の発表や芸術鑑賞、ふるさと学習や地域の魅力発信の場とすることで、多様な市民交流の場を提供する。

5 令和5年度鹿島市生涯スポーツ振興計画

1 基本施策

すべての市民がスポーツやレクリエーション活動に親しみふれあうために、安心してスポーツをすることができる環境の整備と指導者の育成を図り、ひいては市民の健康寿命（日常生活に制限のない期間）を延ばすことを目的に「だれでも」「いつでも」「どこでも」できる生涯スポーツの振興に努める。

2 施策の方向

少子・高齢化や人口減少が進む中、人々の健康・体力づくりへの関心も高まり、スポーツを取り巻く環境は大きく変化し、日常生活の中でスポーツ活動に対する要求は多様化、高度化している。

このような状況の中で、市民一人ひとりが日々の生活の中で、生涯にわたり積極的にスポーツに親しむことは心身の健康増進と体力向上に役立つだけでなく、明るく豊かで生きがいのある生活を営むうえでも極めて重要なことである。

そこで、市民が従来からのスポーツに加え総合型地域スポーツクラブ「スポーツライフ鹿島」や平成30年度から始まった健康チャレンジ事業（健診やスポーツ参加へのポイント付与事業）等を活用し、気軽にできる軽スポーツに親しみ、健康で活力に満ち真に生活の豊かさを実感し、平均寿命と健康寿命の差が縮まるよう本市に適した形で生涯スポーツの推進を目指す。

また、佐賀県で開催されるSAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の成功に向け、リハーサル大会を開催し、来年の本大会に向けて準備を進めていく。

3 具体的施策

(1) 生涯スポーツの推進

市民がスポーツを愛し、スポーツに親しみ、スポーツの生活化に努められるよう市民だれでも・いつでも・どこでも、生涯を通じて気軽にスポーツ活動に取り組める場と機会をつくり、生涯スポーツの推進を図る。

- ①市民スポーツフェスタ等のスポーツイベントの活性化
- ②総合型地域スポーツクラブ「スポーツライフ鹿島」の育成・支援
- ③スポーツ活動の機会を拡充するための多様目、多世代のスポーツ教室の開催

(2) スポーツ組織の育成

地域スポーツの普及・振興を図るため、スポーツの愛好者及びスポーツクラブの未組織種目の組織化、また、スポーツ推進委員協議会、スポーツ協会、その下部組織である種目団体、スポーツ少年団や少年スポーツ指導者連絡協議会等の既存する組織の強化・充実を図る。

- ①スポーツ協会の組織力強化及び各種目団体の強化・充実

(3) 生涯スポーツ指導者の養成充実

生涯スポーツの振興は、各種スポーツ指導者に負うところが極めて大きく、本市においても、各種指導者養成講習会を実施し指導者の発掘を推進しており、生涯スポーツ活動が充実した指導体制のもとで行われるよう指導者の養成・確保・活用を展開する。

- ①スポーツ推進委員の活動促進、資質の向上
- ②各種スポーツ活動指導者の養成

(4) スポーツ施設の充実と活用

市民だれもが、いつでも利用でき、日常生活の一部としてスポーツに親しむために、社会体育施設の整備や学校体育施設の開放を促進する。

また、施設の利用調整会議等を実施し、利用者にとってよりよい利便性と施設の有効活用を図る。

- ①社会体育施設の有効利活用の促進
- ②学校体育施設の開放と有効利用の促進
- ③各スポーツ施設の整備

(5) 広報活動の促進

市民のスポーツに対する理解を深め、積極的に参加できるよう、各種スポーツ行事や教室等の開催情報、スポーツライフ鹿島の活動情報等の提供を促進する。

また、スポーツ施設の利用マナー向上を図るために更なる周知活動を展開する。

(6) 安全対策の推進

市民が安心してスポーツ活動に取り組めるために、スポーツ活動に伴う安全と傷害についての認識を高め、スポーツ傷害保険加入の促進を図る。

また、スポーツ施設における熱中症予防対策として、温湿度計設置及び注意喚起ポスターの掲示等を行う。

(7) スポーツ合宿の推進及びスポーツイベントの誘致

スポーツ合宿の推進とスポーツイベントを誘致することにより、市民にスポーツについて関心を向けてもらい、スポーツを通じて交流の機会を増大させることで地域の活性化に繋げる。

(8) SAGA 2.0 24 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた取り組み

令和6年に開催される本大会に向けて、リハーサル大会を実施し本番を想定した詳細な準備を進めていく。また、本大会をスポーツ活動の啓発の機運ととらえ積極的に広報を行い身近に感じることでスポーツに対する理解を深めてもらう。

以上のような具体的施策をもとに生涯スポーツの観点から、市民だれもが、それぞれの年齢・体力・目的などに応じて、いつでも、どこでもスポーツに親しみ、自主的・自発的に活動できる条件整備と心身の健康増進のための更なる環境づくりに努める。

鹿島市の学校給食

1 基本方針

学校給食は教育の一環として位置づけられ、「食」に関する指導を実施し、望ましい食習慣を身に付けさせるとともに、児童生徒の健康保持と増進、豊かな人間性を育むなど心身ともに健全な児童生徒の育成を図るうえで重要な役割を果たすものである。

このため、魅力ある豊かな学校給食の提供と適切な給食指導に努めるとともに、食品衛生法の一部改正に伴い、令和3年6月から義務化された、ハサップ（HACCP）の概念を取り入れた食中毒の防止対策など衛生管理の徹底を図らなければならない。また、学習指導要領に食育の推進が明記されており、小学校は平成23年度から、中学校は平成24年度から実施しており、生涯を通して健康な市民の育成のために学校給食を教材とした食育の充実に努めなければならない。

魅力ある学校給食の提供と食育の推進による望ましい食習慣の育成

(1) 豊かでバランスのとれた学校給食

今日、核家族化、都市化、地域における地縁的なつながりの希薄化など社会経済情勢の変化に伴い、家庭の教育力の低下が憂慮されている。朝食の欠食、孤食の増加、不規則な食事による肥満や過度の痩身志向、生活習慣病の若年化などバランスのよい栄養摂取ができていない児童生徒も見受けられる。

学校給食では、文部科学省が示している食事摂取基準の確保はもとより、郷土食や行事食ほか各学校のアンコール食など魅力ある変化に富んだ給食を提供するとともに、地元の新鮮な旬の食材を多く取り入れた献立の工夫により、今後も児童生徒や保護者を対象とした食育を推進し、食に関する知識を深め、正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の育成と定着を図る。

(2) 心を育てる学校給食

将来を担う児童生徒が給食時間において互いに協力し、給食の配膳などの準備と後片付け等を体験することにより、協同の精神を養い、食事のマナー向上を目指して給食指導の徹底を図る。また、新鮮で安心な鹿島産食材の使用により、児童生徒が鹿島の農・水産物や更には食文化への理解を深め、地元生産者や納入業者等給食に携わる身近な人々の想いに触れ、支えられていることにより感謝の心を育む。

(3) 学校給食施設の整備促進

学校給食センターは、第一調理場、第二調理場を併せ持つが、開設以来35年以上経過しており老朽化が進んでいる。今後も安心・安全な学校給食を提供するため、施設の更新時には「学校給食衛生管理基準」や「大量調理施設管理マニュアル」に沿った施設、設備の計画的な整備を進めていく必要がある。

また、年々増加傾向にある食物アレルギー対象者の安全確保と事故防止の徹底を図るためアレルギー除去食対応専用の調理室を平成30年度に建設した。

2 鹿島市立学校給食センターの概要

給食開始年度	内 容	備 考
昭和37年9月	鹿島小学校給食開始（自校方式） 給食児童数 1,350名	
昭和39年6月	古枝小学校給食開始（自校方式） 給食児童数 610名	
昭和43年4月	鹿島市立学校給食センター設置 小学校3校 中学校3校 分校4校 給食児童・生徒数 4,160名	
昭和55年4月	東部給食センター設置 小学校3校 中学校1校 分校1校 給食児童・生徒数 2,000名	
昭和61年	鹿島市立学校給食センター建設 建設費 2億7,700万円 敷地面積 5,048㎡ 建物（鉄筋一階2階建）1,418㎡ 第1調理場（小学校）・第2調理場（中学校）献立 と調理が別々になる	
昭和62年1月	3学期から給食開始 小学校6校 分校2校 中学校2校 給食児童数（小学校） 3,400名 生徒数（中学校） 1,800名 合 計 5,200名	
平成3年4月	小学校7校 分校2校 中学校2校 給食児童数（小学校） 3,010名 生徒数（中学校） 1,581名 合 計 4,591名	
平成20年5月	小学校7校 分校2校 中学校2校 給食児童数（小学校） 2,049名 生徒数（中学校） 1,075名 合 計 3,124名	
平成21年5月	小学校7校 分校2校 中学校2校 給食児童数（小学校） 2,018名 生徒数（中学校） 1,045名 合 計 3,063名 <給食費改定> 小学校給食費 3,900円（1食単価220円） 中学校給食費 4,500円（1食単価250円）	給食内容 （21年度から） ・米飯週4回 （月水木金） ・パン週1回 （火） ・麦飯月1回

平成27年5月	小学校7校 分校2校 中学校2校 給食児童数(小学校) 1,645名 生徒数(中学校) 972名 合計 2,617名 <給食費改定> 小学校給食費 4,100円(1食単価250円) 中学校給食費 4,800円(1食単価300円)	
平成29年5月	小学校7校 分校1校 中学校2校 給食児童数(小学校) 1,641名 生徒数(中学校) 809名 合計 2,450名	平成29年9月 から基本は米飯 パン月2回程度
平成30年5月	小学校7校 分校1校 中学校2校 給食児童数(小学校) 1,620名 生徒数(中学校) 770名 合計 2,390名 <給食費> 小学校給食費 4,100円(1食単価240円) 中学校給食費 4,800円(1食単価280円)	
令和2年5月	小学校7校 分校1校 中学校2校 給食児童数(小学校) 1,584名 生徒数(中学校) 794名 合計 2,378名 <給食費> 小学校給食費 4,300円(1食単価250円) 中学校給食費 5,000円(1食単価290円)	
令和5年5月	小学校7校 分校1校 中学校2校 給食児童数(小学校) 1,515名 生徒数(中学校) 706名 合計 2,221名 <給食費> 小学校給食費 4,300円(1食単価250円) 中学校給食費 5,000円(1食単価290円)	

- 学校給食運営委員会
 - 年2回以上開催 委員（22名以内）
 - 市内小中学校長 9名、PTA役員 11名、知識経験者 2名

- 給食献立委員会
 - 毎月初旬に開催し、翌月分の献立等を協議決定する
 - 委員（各学校給食主任9名 給食センター栄養教諭等3名）

- 給食物資納入
 - 鮮魚、青果、精肉、蒲鉾、漬物、豆腐、麺、こんにゃく、納豆等の
市内約30業者
 - 佐賀県学校給食会、グリコマニュファクチャリングジャパン（株）
（米飯については鹿島産米を100%使用）
 - 年間 約1億2,800万円

- 給食センター職員

所 長	1名	主 任	1名
栄養教諭	2名	学校栄養職員	1名

- 調理等業務委託職員（平成26年度より調理・配送部門を民間委託）

調理員	23名
運転手	5名

鹿島市生涯学習センター・エイブル

～ エイブルミッション ～

我々は、これまでの文化芸術を継承・創造・発信し、人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々の文化権を保障し、人々が共に生きる絆を形成する。そのことによって市民自らが、心豊かな生活を実現し、活力ある社会構築に資するよう「市民立」の取組みを強化する。

(一財)鹿島市民立生涯学習・文化振興財団は平成 21 年度より任意団体として、鹿島市民会館、鹿島市生涯学習センター・エイブルの施設管理と鹿島市民図書館の事業運営を、指定管理者として、鹿島市より受託しました。平成 26 年度組織・信用の強化のため、一般財団へと組織変更し、2 期目の指定管理を受託しました。

本年度は、エイブルと市民図書館の指定管理3期目の最終年度となり、建設中の鹿島市民文化ホールの指定管理の受託も視野に入れながら、直営の田澤義鋪記念館との連携も含め、「市民が主役の生涯学習の推進、文化振興」に全力をあげて取り組んでいきます。

令和5年度も、当財団の果たすべき使命をエイブルミッションとして明確にし、「SDGs」「多様性」を意識しながら、財団の運営を行っていきます。「第7次鹿島市総合計画」と「鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標「他団体との連携事業 10 件」は昨年度に引き続き、達成を目指します。

I. 市民が主役のエイブル倶楽部の再構築～多様性の重視

新型コロナウイルスの影響で遠のいた人々が、再びエイブルを拠点に集い楽しめるエイブル倶楽部の運営と、市民サポーター制度の再構築を行います。事業の根幹である「エイブル倶楽部」では、「エイブル講座」「エイブル事業」「床の間コーナー」の充実に努め、SNSの発信を強化し、地域住民の活躍の場を広げる拠点としてエイブルの利用促進を図ります。

1 利用者の多様性に対応

障がい者、高齢者、LGBT、子育て世代、在留外国人、など、社会的包摂を念頭に、多様な人々が利用しやすく、施設、事業の両面で参加しやすい運営を進めます。これまで各事業担当で行った利用者アンケートの継続に加え、新たな切り口で、上記の各種団体や利用者の声を拾い、また、他の文化施設の情報を収集し、ニーズに合った事業展開を目指します。

2 サポーター制度の再構築

市民代表のサポーターとして中核を担っていた編成・広報部会の位置づけや内容を見直し、新たに、エイブル倶楽部運営委員会として、市民が参加しやすいサポーター活動を提案し、市民立の運営強化を推進します。また、職員とサポーターが共に考え、取り組む、市民協働の場づくりとして、事業終了後の意見交流会を定着させ、併せて年 1~2 回程度サポーター同士の交流会の実施も検討し、サポーター同士のコミュニケーションをはかり、横の繋がりや活性化・活動促進を図っていきます。

3 複合施設のメリット

鹿島市民図書館、保健センターとの複合施設のメリットを活かし、田澤義鋪記念館、市内学校とも連携し、これまでご利用の少なかった方、エイブルに来たことのない方にも利用していただく、あるいは応援していただくために、アウトリーチ、見学受け入れなど、連携事業を増やしていきます。

II. まちづくりに貢献するエイブル～「SDGs」「DX」の推進

- 1 市内各小学校へのエイブル事業のアウトリーチ、佐賀大学、鹿島市(環境下水道課ラムサール条約推進室、干潟交流館)などの、既存の連携先だけでなく、各地区、地元高等学校、福祉団体、大学と連携事業を進めます。
- 2 他団体のボランティア育成プログラム、文化施設の助成事業などを研究し、当財団スタッフ以外でも、生涯学習・文化芸術に興味のある市民が、エイブル倶楽部のサポーターとしてだけでなく、主体的に地元で事業企画、開催ができる人材育成に貢献します。
- 3 鹿島市の要請に応じた、鹿島市民体育館、武道場、中川グラウンド、横田グラウンド、の体育施設の借用申し込み受付、スポーツ用具の市役所休日の貸出し・返却受付を行います。
- 4 鹿島市民文化ホールの利用受付業務を、4月15日より、エイブルにて開始します。

III. 安全・安心な施設管理の運営

開館22年を迎え、中長期のメンテナンスを視野に入れた施設管理を安全第一に、保健センターの協力を得ながら、利用者の使いやすい活気のある公共施設を目指します。

鹿島市民文化ホールの建て替えて、エイブルと鹿島市民文化ホールは館外通路でつながり、人の出入りの安全管理にも留意が必要となります。

また、エイブルは鹿島市指定の福祉避難所となっており、身体(下肢や体幹、人工肛門等)に障がいのある方や足腰が弱い方、知的・精神の障がいがある方の避難場所として、鹿島市の運営に協力していきます。

IV. 質の高い生涯学習事業・文化事業(エイブル倶楽部)の推進

エイブル講座

令和5年度のエイブル講座は引き続き、「学びたい人が5人集まれば開講」することを基本に鹿島市および近隣の地域住民の生涯学習を推進していきます。性別や国籍に関わらずだれもがいきいきと学び、心豊かになるような講座運営を目指します。

予定講座数 30 講座★は連携講座事業の内容	講座数
①趣味・芸術、生活・技術、健康づくり、教養の各分野で、市民から「学びたい」、「教えた い」の要望を受け、生徒が5人以上集まった講座の開講準備・運営。前年度から継続している講 座を引きつづき運営。 <趣味・芸術>エレキギター、フラワーアレンジメント、糸かけ数楽アート、ウクレレ <生活・技術>お茶、料理★、パン作り、 <健康づくり>キッズヨガ・ダンス、フラダンス、アロマセラピー★ <国際交流>英会話 <ふるさと学>肥前鹿島里山未来拠点協議会との連携講座★ かしまぐるっとミュージアム見学★	24講座
②デジタル社会実現のための講座 ・パソコン入門講座 ・パソコン・スマホ・タブレットお困りごと相談会 ・Zoomの使い方講座	4講座
③多文化共生理解講座 佐賀県国際交流協会から講師を派遣していただき、多文化共生理解講座を開催する。鹿島市在 住または勤務する外国人と市民の交流も図る。	2講座

エイブル事業

エイブルが鹿島市の文化芸術を発信する拠点としての役割を担うために、幅広い市民の皆さんに魅力ある事業を提供し、文化に触れる機会のさらなる拡充と「市民による市民のための生涯学習と文化振興」の推進を図ります。

No.	事業名	開催時期	会場	備考
1	第21回エイブル祭り	5月13日(土)～ 5月21日(日)	エイブル全館	
2	エイブルアウトリーチ事業 津軽三味線×マリパ・パークッションコンサート	6月6日(火)～ 6月8日(木)	市内小学校	鹿島、古枝、浜、 七浦、明倫
3	『ピン・ポン』	7月30日(日)	エイブルホール	親子向け
4	古謝美佐子コンサート 沖縄の風in鹿島	8月27日(日)	エイブルホール	
5	親子で楽しむコンサート	10月1日(日)	エイブルホール	親子向け
6	優秀映画鑑賞推進事業 『なつかしの映画'80～'90特集』	10月14(土)15(日)日	エイブルホール	
7	風間杜夫ひとり芝居 『帰ってきたカラオケマン』	11月25日(土)	鹿島市民文化 ホール(予定)	『公文協アートキャ ラバン』参加事業
8	えいぶるえいがforキッズ	12月17日(日)	エイブルホール	親子向け
9	三遊亭究斗「ミュージカル落語・ 宮沢賢治」	2月予定	エイブルホール	
10	えいぶるえいが	日程未定	エイブルホール	

床の間コーナー

床の間コーナーは、芸術・文化の展示を通して、鹿島市民や近隣の地域住民に郷土への愛着と誇りを感じてもらうことを目的としています。顧問であり人間国宝の鈴木滋人氏の指導を仰ぎつつ、小さいながらも美術館・博物館的役割を担い、全国レベルで活躍している(活躍した)、鹿島ゆかりの芸術家の作品を展示します。また、これまで多くの人の目に触れることのなかった鹿島の歴史的史料を展示し、貴重な史料の保存の必要性を伝えていきます。

展示企画名	分野	期間	備考(企画協力)
納富進展	美術(洋画)	4～6月	鹿島美術人協会、ギャラリートーク(語る会)予定
鹿島市の指定文化財展	郷土史	7～9月	連携:鹿島市生涯学習課、ギャラリートーク予定
かしま再発見展～鹿島地区～	郷土史	10～12月	ギャラリートーク予定
鈴木滋人展	工芸(染職)	1～3月	文化庁記録映画上映(予定)

V. 広報

エイブル倶楽部、市民図書館の活動を広報誌「エイブルの木」、ホームページ、SNSで広報し、エイブル倶楽部会員の入会促進、エイブルの利用者の拡大を図ります。広報誌、チラシ・ポスターのほか、新聞やケーブルテレビ、情報サイトなど各種メディア等への広報を効果的に行い、多くの地域住民に、タイムリーな情報提供を行い、エイブルの各事業への参加を促進します。

1 「広報かしま」における広報誌「エイブルの木」の紹介

2 ホームページの運営と各種 SNS による広報

3 情報発信の強化

① マスコミへの情報発信を強化します。新聞へは定例記者会見や文化担当者へ情報提供を行い、またケーブルテレビとも積極的に連携します。

② ケーブルテレビとの連携は、互いに制作した動画の共有できるようにし、動画制作の指導も仰ぎ、動画の質の向上と、より広い層への浸透を図ります。

③ 広報サポーターを募り、SNSから口コミまで、多くのチャンネルで発信します。

鹿島市民図書館

1 図書館運営の基本方針

鹿島市民図書館は、指定管理者「一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団」の理念である“市民力を活かした運営”を念頭に置き、“直接資料を手に取り情報収集できる場”“癒しの場”“親子のコミュニケーションの場”として、すべての市民が気軽に立ち寄り利用できる教育・文化・情報の発信基地として時代の流れに即したサービスの提供に努めるとともに、司書・学芸員等の専門性や複合施設の強みを活かしながら、多様化・高度化している市民のニーズに対応できる図書館づくりを目指してきました。

しかしながら、人口減少および人口動態の変化や情報端末等の普及に伴う活字離れ等の影響や、長きにわたり私達の生活に様々な制約をもたらしてきた新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数の減少傾向はますます顕著になってきており、令和4年度も利用の落ち込みがみられます。

令和5年度においては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ変更に伴う状況の変化に対応しつつ、地域に根ざした生涯学習の拠点としての役割を果たすべく、生涯学習および文化振興に係るさまざまな分野の機関や施策との連携を図りながら、すべての人々が平等に生涯学習・文化活動を推進できる場、社会的包摂機能を備えた場としての図書館づくりに取り組んでいきます。また、第7次鹿島市総合計画(令和3年度～令和7年度)^{※1}の新たな目標に基づき、図書館の利用促進、特に新規利用者の獲得を目指した取り組みを行っていきます。

さらに、学芸部^{※2}においても、古文書の収集・整理はもちろん、地域や外部機関・団体との連携を図りつつ館内外での展示や講演活動を充実させ、引き続き県西部地区における歴史・文化の情報発信拠点となるよう努めていきます。

※1: 図書館の利用促進、特に新規利用者の獲得・開拓に向けた事業展開

【目標・指標】巡回図書館貸出冊数 2,904 冊(R1年度)→3,200 冊(R7 年度)

※2: 鹿島市からの委託業務「明治維新 150 年記念事業」の受託に伴い、平成 30 年度から設置。今後も地域における必要性が高まると思われることから、令和元年度以降も継続。

◇図書館運営にあたっての具体的目標

- ① 気軽に立ち寄ることができ、温かさや安らぎが感じられる図書館づくりを行います。
- ② 利用者のニーズに応じた図書・視聴覚資料・逐次刊行物等の充実と提供に努めます。
- ③ 郷土に関する貴重資料の収集・整理保存・利活用に努めます。
- ④ 職員研修の充実により、利用者サービスの向上に努めます。
- ⑤ レファレンスサービスの充実を努めます。
- ⑥ 図書館システムおよびホームページの拡充により、さらなる利用者サービス提供を行います。
- ⑦ 企画事業等のさまざまな取組みにより図書館への関心を高め、入館者数増加を目指します。
- ⑧ 「おはなし会」や「ぶっくすくすく」等、乳幼児・児童向け事業の充実を図ります。
- ⑨ 子どもの読書推進および利用促進に努めます。
- ⑩ 図書館海援隊参加館^{※1}として、ハローワーク等と連携し、地域の課題解決に資する取組みに努めます。
- ⑪ 図書館ボランティアや市民との連携を図ります。
- ⑫ 地区公民館・学校図書館・その他公共教育施設等との連携を図ります。
- ⑬ 生涯学習事業・文化事業をすすめるエイブル倶楽部との連携強化を図ります。
- ⑭ 市内事業所および市役所との情報提供および連携に努めます。
- ⑮ 県内外の公共図書館とのネットワークづくりに努めます。
- ⑯ 市民向け巡回図書「みにみに図書館」(学校・遠隔地の保育園・公民館・企業等)の拡充に努めます。
- ⑰ 「広報かしま」「みんと」等の機関紙により、広く図書館情報を発信します。^{※2}
- ⑱ 図書館のホームページの充実を図り、広報に力を注ぎます。
- ⑲ 古文書の管理とそのデジタル化事業を推進するとともに、館内外での展示や講演活動を実施します。
- ⑳ 外部の機関・団体と連携し、書籍の出版や企画展示・講演等の事業を展開します。

※1: 平成 22 年 9 月から、文部科学省「図書館海援隊プロジェクト」に参加。

館内に就労支援コーナー等をはじめとした地域の課題解決に資するコーナーを設けている。

※2: 令和5年度からの「広報かしま」配布方法変更(新聞折込→全戸配布)に伴い「エイブルの木」の全戸配布及び「みんと」の各地区回覧が終了。代わりに「広報かしま」内に「エイブルの木」のタイトルでエイブル及び図書館の情報を2頁掲載予定。

2 令和5年度計画

(1) 企画・事業

① 図書部

No	企画・事業名	実施予定月	対 象
1	こどもの読書週間イベント① おはなし会『ねえ、パパ絵本よんで!』	4月	全般
2	こどもの読書週間イベント② わくわく絵本ぬり絵	4月～5月	全般 ※子ども中心に
3	こどもの読書週間イベント③ としょかんでつくっちゃおう!	5月	全般 ※子ども中心に
4	エイブル祭り関連行事 「読書手帖」配布	5月	全般
5	市内公共施設、市内小中学校、市内放課後児童クラブへの除籍本及び雑誌配布 ※無料配布1回目	5月	市内学校・公共施設・放課後児童クラブ
6	雑誌と本の無料配布 ※本をゆずる市(1回目)と雑誌無料配布を同時開催	6月～7月	全般
7	天の川お星さまおはなし会	7月	幼児・児童とその保護者
8	夏休み企画① 読書感想文関連	7月～8月	児童
9	夏休み企画② 理科教室関連	8月	児童
10	市内学校司書補研修	8月	市内学校司書補
11	蔵書点検	10月	-
12	市内学校・公共施設等への除籍本配布(2回目)	10月	市内学校・公共施設・放課後児童クラブ
13	本をゆずる市 市民からの受付 ※新型コロナウイルス等の状況により	10月	市民全般
14	本をゆずる市(2回目)	11月	全般
15	おはなしとどけ隊(2回)	11月	市内小学校
16	としょかんのクリスマス会	12月	幼児・児童とその保護者
17	としょかん福袋	1月	全般
18	冬の特大大おはなし会	1月～2月	幼児・児童とその保護者
19	雑誌付録プレゼント	2月	全般
20	講演会	未定	全般
21	他機関との連携講座・ワークショップなど	未定	未定
22	大人向け企画 ※1～3本の企画を予定 →講座・ワークショップ・展示等を単独または他機関との連携で	未定	大人
23	ブックスタート類似事業 ぶつくすくすく ※4か月児健診時に実施	毎月	4か月児とその保護者
24	おはなし会 :土曜日のおはなし会	毎週土曜	3歳～
25	おはなし会 :あんころもち	毎週火曜	0歳～3歳
26	出張おはなし会:わ・わ・わぼっとでおはなし会	毎月第2水曜・最終日曜	5か月児～就学前児とその保護者
27	絵本読み語り隊(年12回) ※1・2月なし/6・10月×2回/ほか月1回 →新型コロナウイルス等に対する施設側の対応・意向による	通年	市内高齢者施設
28	子ども図書館サポーター(年8～10回)	通年	市内小学校4・5年生
29	鹿島市図書館協議会(年3回)	7月・11月・2月	鹿島市図書館協議会委員
30	市内幼・保、小中学校、高齢者施設等団体からの選書依頼受付	随時	
31	他機関からの依頼による連携事業	随時	
32	図書館見学・実習・視察等受入	随時	
33	巡回図書 みにみに図書館	毎月第3・最終木曜	市内小中学校及び各施設
34	県内公共図書館児童サービス研究会	偶数月 ※年4回	県内公共図書館
35	県内公共図書館レファレンス研究会	奇数 ※年4回	県内公共図書館

②学芸部

事業	企画・事業名	備考
講演	随時実施	
展示	「近代鹿島の地域文学史料展」	@図書館地域資料コーナー
	床の間コーナー展示「かしま再発見～鹿島地区～」 ※10月～11月	事務局との共催
その他企画	エイブル講座「ふるさと探訪～鹿島地区～」	
		「田澤義鋪」顕彰・普及事業
調査	地域からの要望・情報提供等、状況に応じた調査の実施	随時
その他	『鹿島歴史文庫 第2集』の編纂・刊行	
	外部からの依頼に応じた講演などの実施	随時

③佐賀うちどくフェスティバル in 鹿島

佐賀うちどくネットワーク(代表:伊万里市長)主催で、平成25年度から県内各市で順番に開催されてきた「佐賀うちどくフェスティバル」について、令和5年度は、鹿島市で開催することが決まりました。鹿島市教育委員会とともに、図書館としても協力をしていく予定です。

- ・開催日:令和5年11月11日(土)
- ・場 所:鹿島市生涯学習センターエイブル ホール

(2)広報

広 報	実 施	対 象
図書館だより「みんと」発行 ※平成26.8月(七浦地区)、9月(市内全地区)から始まった市内全地区回覧板への挟込みは令和4年度末をもって終了します	毎月	全般
ティーンズ向け資料案内「イエローラベル通信」の発行	季刊	ティーンズ
保育園・幼稚園への資料案内「えほんともだち」の発行	季刊	保育園・幼稚園、子育て支援関連施設
小学校への新刊案内「あたらしい本のしょうかい」の発行	季刊	小学生
市役所へのメール配信 ※図書館だより「みんと」、「新着図書案内」、お知らせほか	毎月	市職員
市内企業へ向けた「新着図書案内」の発行	毎月	市内企業
ホームページでの行事案内、新着資料案内	随時	全般
ツイッターを使った情報発信	随時	全般
ケーブルテレビ版 図書館だより「ケーブル de みんと」 ※R3年5月からエイブル&図書館の案内コーナー「エイブル&みんと」の中で放送	毎月	市民
そのほか行事等に合わせた関連資料パンフレットの作成・配布	随時	全般
鹿島市 定例記者会見	毎月	市内マスコミ

資料編

教育委員会

1 教育委員（現委員・歴代委員長・歴代教育長・歴代委員）

○ 現教育長および教育委員

令和5年4月1日

氏名	役職名	委員任期年月日
中村和彦	教育長	R 4. 12. 25~R 7. 12. 24
池田正明	委員(職務代理者)	R 4. 10. 1~R 8. 9. 30
吉田美砂子	委員	R 4. 12. 26~R 6. 12. 24
岡田和人	委員	R 3. 10. 11~R 7. 10. 10
山口知子	委員	R 1. 10. 1~R 5. 9. 30

○ 歴代委員長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	前山 専一	S27.11.1	S29.5.11
2	中西 貞喜	S29.5.12	S36.10.1
3	中島 荒喜	S36.10.1	S39.9.30
4	中西 貞喜	S39.11.24	S42.9.30
5	水頭 周造	S42.10.3	S46.9.30
6	林 栄	S46.10.1	S47.9.30
7	勝屋 弘知	S47.10.1	S58.9.30
8	小野原 静磨	S58.10.1	S59.9.30
9	植松 今	S59.10.1	H2.9.30
10	志田 玲子	H2.10.5	H12.12.24
11	江崎 サト子	H12.12.25	H17.6.6
12	藤家 恒善	H17.7.1	H23.3.31
13	宮津 彰子	H23.4.1	H24.12.24
14	田中 隆昭	H24.12.25	H28.12.24

○ (旧制度) 歴代教育長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	森田 繁一	S29.5.12	S45.9.30
2	馬場 源六	S45.10.1	S49.9.30
3	千々岩 辰男	S49.10.1	S59.12.24
4	馬場 敬吉	S60.1.9	H元.4.30
5	迎 昭典	H元.5.19	H13.3.31
6	小野原 利幸	H13.4.1	H24.3.31
7	江島 秀隆	H24.4.1	H28.12.24

○ (新制度) 歴代教育長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	江島 秀隆	H28.12.25	H30.11.30
2	中村 和彦	H30.12.20	現任中

※H28.12.25より新制度へ移行

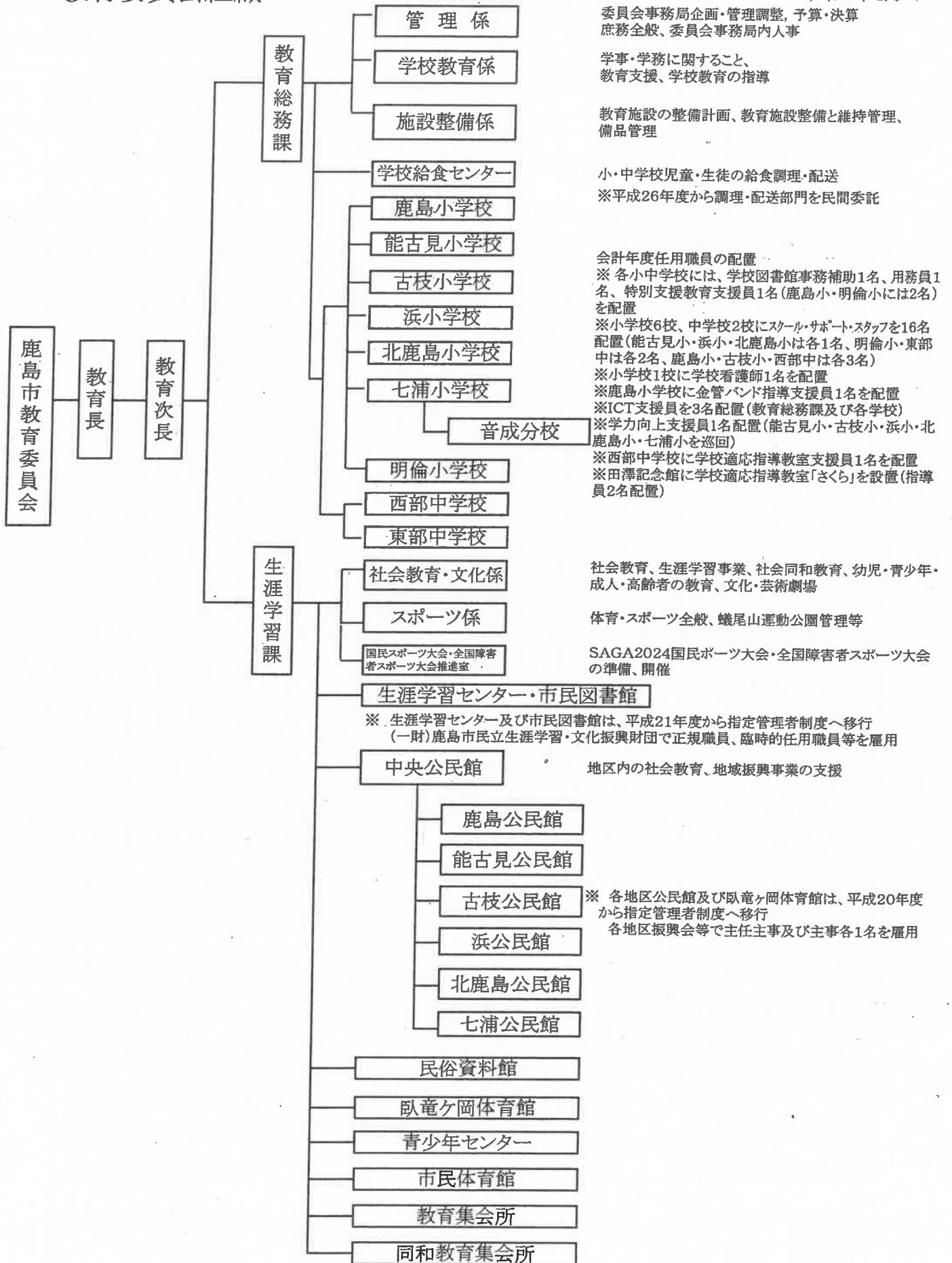
○ 歴代委員

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	中西 貞喜	S29.5.12	S42.9.30
2	志田 英利	S29.5.12	S31.9.30
3	前山 専一	S29.5.12	S31.9.30
4	峰松 幸太	S29.5.12	S31.9.30
5	井上 常一	S29.5.12	S30.3.30
6	森田 繁一	S29.5.12	S45.9.30
7	中村 一男	S30.4.1	S31.9.30
8	中島 荒喜	S31.10.1	S39.9.30
9	岩 永久次	S31.10.1	S39.9.30
10	小野原 シナ	S31.10.1	S40.9.30
11	馬場 伊勢吉	S39.11.20	S43.11.19
12	中尾 力四郎	S39.12.23	S43.12.22
13	並木 シゲ	S40.10.1	S44.9.30
14	水頭 周造	S42.10.3	S46.9.30
15	林 栄	S43.12.23	S47.9.30
16	寺山 角一	S43.12.23	S47.9.30
17	森田 塙作	S44.10.1	S48.9.30
18	馬場 源六	S45.10.1	S53.9.30
19	勝屋 弘知	S46.10.1	S58.9.30
20	千々岩 辰男	S47.10.1	S59.12.24
21	小野原 静磨	S47.10.1	S59.12.24
22	山口 森	S48.10.1	S52.9.30
23	中島 一男	S52.10.11	H元.10.10
24	植松 今	S53.10.1	H2.9.30
25	橋本 重太郎	S58.10.1	S62.9.30
26	馬場 敬吉	S59.12.25	H元.4.30
27	中島 國雄	S59.12.25	S63.12.24

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
28	松本 一貫	S62.10.1	H3.9.30
29	志田 玲子	S63.12.25	H12.12.24
30	迎 昭典	H元.5.8	H13.3.31
31	蒲原 孝之	H元.10.11	H9.10.10
32	鍋島 和子	H2.10.1	H10.9.30
33	森田 幸	H3.10.1	H7.9.30
34	光武 理一郎	H7.10.1	H11.3.31
35	真崎 秀文	H9.10.11	H13.2.8
36	江崎 サト子	H10.10.1	H17.6.6
37	重富 峻	H11.4.1	H19.9.30
38	宮津 彰子	H12.12.25	H24.12.24
39	西 香津美	H13.4.1	H21.10.10
40	小野原 利幸	H13.4.1	H24.3.31
41	藤家 恒善	H17.7.1	H23.3.31
42	北村 たまき	H19.10.1	H23.9.30
43	中島 丈夫	H21.10.11	H29.10.10
44	田中 隆昭	H23.4.1	H30.9.30
45	光武 尚子	H23.10.1	H27.9.30
46	江島 秀隆	H24.4.1	H28.12.24
47	木原 八重子	H24.12.25	R4.12.25
48	田代 道子	H27.10.1	R1.9.30
49	岡田 和人	H29.10.11	現任中
50	池田 正明	H30.10.1	現任中
51	山口 知子	R1.10.1	現任中
51	吉田 美砂子	R4.12.26	現任中

2 教育委員会組織

令和5年4月1日



学 校 教 育

1 歴代外国語指導助手 (ALT)

氏 名	性別	国 籍	勤務期間
Laura Lockwood Hermione ローラ ロックウッド ハーミオン	女	アメリカ	S62.8~S63.7
John Edwin Taratuta ジョン エドウィン タラチュータ	男	アメリカ	S63.8~H3.7
Sarah Jayne Kefford セーラ ジェーン ケフォード	女	イギリス	H3.8~H5.7
Brian Bruce Linse ブライアン ブルース リンス	男	アメリカ	H5.7~H8.7
Brian Joseph Williams ブライアン ジョセフ ウィリアムス	男	カナダ	H5.7~H8.7
Naomi Hisako Kishimoto ナオミ ヒサコ キシモト	女	アメリカ	H8.7~H9.7
Jessica Ellen Craig ジェシカ エレン クレック	女	アメリカ	H8.7~H9.7
Sabita Joe Soneji サビタ ジョー ソネジ	女	アメリカ	H9.7~H11.7
Frederick James Ortiz フレデリック ジェイムス オルティズ	男	アメリカ	H9.7~H12.7
Nicole Marie Hebert ニコール マリー エペール	女	アメリカ	H11.7~H12.7
Enda Patrick Cusack エンダ パトリック キュサック	男	アイルランド	H12.7~H13.7
Nichola Frances Lobban ニコラ フランシス ロバン	女	ニュージーランド	H12.8~H15.7
Kiara Raazi キアラ ラージー	男	アメリカ	H13.8~H16.7
Aine Flynn オーニャ フレン	女	アイルランド	H15.8~H18.7
Adam McMahon アダム マクマン	男	ニュージーランド	H16.7~H18.7
Theresia Munywoki トウリーサ ムニョーキ	女	アメリカ	H18.8~H22.7
Caleb Fowler ケイレブ ファウラー	男	アメリカ	H18.8~H20.7
Matthew Cale マシュー ケイル	男	アメリカ	H20.8~H21.7
Donovan Smith ドノヴァン スミス	男	アメリカ	H21.7~H24.7
Jolyn Yoneshige ジョリン ヨネシゲ	女	アメリカ	H22.8~H27.8
Tyler Kasindorf-Mantaring タイラー カシンドルフ マンタリン	男	アメリカ	H24.7~H27.7
Toropin Valerie Valerievna トロピン バレリ バレリエブナ	女	アメリカ	H27.8~H28.8
Gonabe Steven Andri ゴナベ スティープン アンドリ	男	アメリカ	H27.7~R3.7
Lessard Sophia Marie レサード ソフィア マリー	女	アメリカ	H28.8~H29.7
Steinberg Audree Leigh スタインバーグ オードリイ レイ	女	アメリカ	H29.8~R1.7
Doherty Amanda Jean ドーティー アマンダ ジーン	女	アメリカ	R1.7~R3.7
Wikkeling Alana Mariah ウィケリング アラナ マライヤ	女	アメリカ	R3.9~
Moore Arjun Christopher モーリ アージュン クリストファー	男	アメリカ	R3.10~

2 令和5年度校医等一覧表

(1) 小学校

(令和5年4月1日現在)

学校名	学校医	学校歯科医	学校薬剤師
鹿島小学校	千々岩 親幸	光 武 正 彦	岩 本 浩
	○ 森 田 園 美	峰 松 慶 太	
能古見小学校	○ 志 田 知 之	古 庄 龍 央	川 崎 紀 美 子
古 枝 小 学 校	○ 鷲 崎 政 治	光 安 雅 幸	占 部 康 幸
浜 小 学 校	○ 薬 師 寺 浩 之	木 原 昭 裕	香 田 由 紀 子
北鹿島小学校	○ 志 田 かおる	中 西 美 穂	籠 手 田 敏 広
七 浦 小 学 校	○ 西 岡 敦 二 郎	國 松 秀 俊	織 田 圭 司 郎
明 倫 小 学 校	○ 田 中 行 夫	中 西 美 穂	織 田 圭 司 郎
	納 富 貴 嗣	森 田 興 司	

(2) 中学校

学校名	学校医	学校歯科医	学校薬剤師
西 部 中 学 校	稗 田 義 雄	木 原 昭 裕	緒 方 良 彦
	○ 西 岡 紘 一 郎	江 越 良 輔	
	犬 塚 貞 孝	峰 松 慶 太	
東 部 中 学 校	○ 中 村 秀 三	古 庄 龍 央	江 下 幸 司
	森 田 園 美	稗 田 照 雄	

備考 ○印は、健康相談医を兼ねています。

3 人口・世帯数の推移

(各年3月31日現在 単位:人, 世帯, ㎡)

区分	世帯数	人口			1世帯人口	面積	人口密度
		総数	男	女			
昭和35年	7,326	40,528	19,334	21,194	5.5	108.97	371.9
昭和40年	7,687	38,089	18,073	20,016	5.0	108.97	349.5
昭和45年	8,407	35,746	16,937	18,809	4.3	108.97	328.0
昭和50年	8,626	35,025	16,666	18,359	4.1	109.76	319.1
昭和55年	8,928	35,521	16,912	18,609	4.0	110.97	320.1
昭和60年	9,239	35,303	16,706	18,597	3.8	111.08	317.8
昭和62年	9,355	35,320	16,683	18,637	3.8	111.08	318.0
昭和63年	9,409	35,345	16,717	18,628	3.8	112.09	315.3
平成元年	9,434	35,159	16,579	18,580	3.7	112.09	313.7
平成2年	9,508	35,048	16,498	18,550	3.7	112.09	312.7
平成3年	9,504	34,857	16,416	18,441	3.7	112.10	310.9
平成4年	9,610	34,774	16,400	18,371	3.6	112.10	310.2
平成5年	9,648	34,768	16,417	18,351	3.6	112.08	310.2
平成6年	9,716	34,681	16,397	18,284	3.6	112.08	309.4
平成7年	9,801	34,662	16,366	18,296	3.5	112.08	309.3
平成8年	9,913	34,646	16,352	18,294	3.5	112.08	309.1
平成9年	9,945	34,459	16,248	18,221	3.5	112.08	307.5
平成10年	9,983	34,371	16,207	18,164	3.4	112.08	306.7
平成11年	10,012	34,189	16,121	18,068	3.4	112.08	305.0
平成12年	10,061	33,954	16,045	17,909	3.4	112.08	302.9
平成13年	10,126	33,882	15,972	17,910	3.3	112.08	302.3
平成14年	10,237	33,757	15,924	17,833	3.3	112.08	301.2
平成15年	10,303	33,648	15,872	17,776	3.3	112.08	300.2
平成16年	10,303	33,352	15,706	17,646	3.2	112.08	297.6
平成17年	10,377	33,060	15,550	17,510	3.2	112.08	295.0
平成18年	10,469	32,719	15,367	17,352	3.1	112.10	291.9
平成19年	10,488	32,331	15,169	17,162	3.1	112.10	288.4
平成20年	10,512	32,038	15,009	17,029	3.0	112.10	285.8
平成21年	10,536	31,790	14,913	16,877	3.0	112.10	283.6
平成22年	10,558	31,622	14,854	16,768	3.0	112.10	282.1
平成23年	10,615	31,511	14,772	16,739	3.0	112.10	281.1
平成24年	10,601	31,370	14,724	16,646	3.0	112.10	279.8
平成25年	10,704	31,231	14,685	16,546	2.9	112.10	278.6
平成26年	10,728	30,946	14,565	16,381	2.9	112.10	276.1
平成27年	10,740	30,600	14,443	16,157	2.8	112.12	272.9
平成28年	10,755	30,361	14,315	16,046	2.8	112.12	270.8
平成29年	10,761	29,958	14,099	15,859	2.8	112.12	267.2
平成30年	10,774	29,591	13,935	15,656	2.7	112.12	263.9
平成31年	10,798	29,174	13,773	15,401	2.7	112.12	260.2
令和2年	10,803	28,760	13,612	15,148	2.7	112.12	256.5
令和3年	10,839	28,396	13,419	14,977	2.6	112.12	253.3
令和4年	10,824	28,007	13,217	14,790	2.6	112.12	249.8
令和5年	10,912	27,692	13,089	14,603	2.5	112.12	247.0

* 地区別人口・世帯数

(令和5年3月31日現在 単位:人, 世帯)

区分	世帯数	人口			1世帯当人口
		総数	男	女	
総数	10,912	27,692	13,089	14,603	2.5
鹿島	5,527	13,350	6,203	7,147	2.4
能古見	1,159	3,223	1,569	1,654	2.8
古枝	1,006	2,758	1,291	1,467	2.7
浜	1,015	2,576	1,195	1,381	2.5
北鹿島	1,280	3,297	1,592	1,705	2.6
七浦	925	2,488	1,239	1,249	2.7

令和5年度児童生徒在籍者数

鹿島市教育委員会

令和5年5月1日現在

	1		2		3		4		5		6		特別支援学級												合計								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	知的障害						自閉症・情緒障害						病弱		男	女					
	計		計		計		計		計		計		1	2	3	4	5	6	男	計	1	2	3	4	5	6	男	計	学	年	男	女	計
	学級		学級		学級		学級		学級		学級																						
鹿島小	22	23	32	29	27	20	24	31	17	25	38	24	1	1	1	1	2	6	8	2	3	1	2	4	12	13			178	155			
	45		61		47		55		42		62						2	2						1	1			333					
	2		2		2		2		2		2				1						2								15				
能古見小	9	8	11	19	15	7	10	13	18	11	9	15	1		2		3		4			2		1	3				78	74			
	17		30		22		23		29		24		1				1												152				
	1		1		1		1		1		1				1							1							8				
古枝小	12	10	8	12	21	10	16	18	16	14	15	22	1	1	1			3	5	1	1	2	2	3	9	12			100	92			
	22		20		31		34		30		37			1	1		2			1			2	3		5年	1	192					
	1		1		1		1		1		1				1							2					1		10				
浜小	11	9	7	9	13	4	7	14	7	13	8	10	1				1		2	2			1	2	5	10	2年	1	60	65			
	20		16		17		21		20		18				1		1					1	1	1	5				125				
	1		1		1		1		1		1				1							2					1		10				
北鹿島小	15	19	11	10	19	15	9	7	16	14	11	13	1				1		2	1	3	1	1		1	7	8			89	80		
	34		21		34		16		30		24				1		1						1	1					169				
	1		1		1		1		1		1				1							1							8				
七小本校	7	7	6	6	6	5	11	10	14	8	8	8			1		1		1			1		1	2	3			55	45			
	14		12		11		21		22		16												1	1					100				
	1		1		1		1		1		1				1							1							8				
音成分校	5	1	3	3																									8	4			
	6		6																										12				
	1		1																										2				
計七小	12	8	9	9	6	5	11	10	14	8	8	8			1		1		1			1		1	2	3			63	49			
	20		18		11		21		22		16												1	1					112				
	2		2		1		1		1		1				1							1							10				
明倫小	30	40	29	40	32	36	27	36	44	38	31	34	2		2	2	1	3	10	2		2	3	2	9	12			212	232			
	70		69		68		63		82		65		1	2	2		5		15			2	1	3					444				
	2		2		2		3		2		2				2							2							17				
合計	111	117	107	128	133	97	104	129	132	123	120	126	5	4	3	6	2	5	25	37	5	6	6	8	8	14	47	61	1		780	747	
	228		235		230		233		255		246		2	3	4	1	2	12		3		3	5	3	14		1		1527				
	10		10		9		9		10		9				8							11					2		78				

西部中	95	86	67	77	80	88							3				3	6	4	6	3			13	16			258	258
	181		144		168								1	2			3		2	1			3			1年	1	516	
	5		4		5									1						3						1		19	
東部中	30	26	36	30	35	36							2				2	2	4	1	3			8	10			111	95
	56		66		71															1	1			2		1年	1	206	
	2		2		2										1					2						1		10	
合計	125	112	103	107	115	124							5				5	8	8	7	6			21	26			369	353
	237		210		239								1	2			3		2	1	2		5			2		722	
	7		6		7										2					5						2		29	

	男	女	合計
小学校	780	747	1527
中学校	369	353	722
合計	1149	1100	2249

5 特別支援学級入級状況

令和5年5月1日現在

学年 学校名	障害種 (学級)	特別支援学級在籍者数							小計	合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
鹿島小学校	知的	1	1		1	1	4	8	21	
	自閉症・情緒		2	3	1	2	5	13		
能古見小学校	知的		2		2			4	7	
	自閉症・情緒				2		1	3		
古枝小学校	知的	1	1	2	1			5	18	
	自閉症・情緒	1	1	1	2	4	3	12		
	病弱・身体虚弱					1		1		
浜小学校	知的		1			1		2	13	
	自閉症・情緒	4			1	2	3	10		
	病弱・身体虚弱		1					1		
北鹿島小学校	知的	1			1			2	10	
	自閉症・情緒	1	3	1	1	1	1	8		
七浦小学校	知的				1			1	4	
	自閉症・情緒			1		1	1	3		
明倫小学校	知的	2	1	4	4	1	3	15	27	
	自閉症・情緒	2			4	3	3	12		
合計		13	13	12	21	17	24		100	

学年 学校名	障害種 (学級)	特別支援学級在籍者数					小計	合計
		1年	2年	3年	4年	5年		
西部中学校	知的	1	5				6	23
	自閉症・情緒	6	6	4			16	
	病弱・身体虚弱	1					1	
東部中学校	知的		2				2	13
	自閉症・情緒	4	2	4			10	
	病弱・身体虚弱	1					1	
合計		13	15	8				36

6 通級指導教室指導状況

【言語】

令和5年5月1日現在

設置校	学校	鹿島小	能古見小	古枝小	浜小	北鹿島小	七浦小	明倫小	合計
鹿島小学校1		9			1	1	1		12
鹿島小学校2		11					1	1	13
合計		20	0	0	1	1	2	1	25

【LD/ADHD】

令和5年5月1日現在

設置校	学校	鹿島小	能古見小	古枝小	浜小	北鹿島小	七浦小	明倫小	合計
鹿島小学校		15	1			2			18
古枝小学校				16		1			17
浜小学校					11		8		19
明倫小学校			1					25	26
合計		15	2	16	11	3	8	25	80

設置校	学校	西部中	東部中	合計
西部中学校		29		29
東部中学校			18	18
合計		29	18	47

7 児童生徒数・学級数の推移

(1) 児童生徒数の推移

(旧校区は現在校区で集計)

	S. 30	S. 31	S. 32	S. 33	S. 34	S. 35	S. 36	S. 37	S. 38	S. 39	S. 40
小学校	5,505	5,712	5,998	6,314	6,314	6,151	5,842	5,480	5,170	-	4,841
中学校	2,707	2,689	2,502	2,227	2,306	2,582	3,096	3,309	3,332	-	2,929
	S. 41	S. 42	S. 43	S. 44	S. 45	S. 46	S. 47	S. 48	S. 49	S. 50	S. 51
小学校	4,589	4,475	4,285	4,166	4,036	3,824	3,772	3,573	3,492	3,474	3,415
中学校	2,739	2,611	2,492	2,371	2,276	2,273	2,161	2,130	1,926	1,932	1,880

	S. 52	S. 53	S. 54	S. 55	S. 56	S. 57	S. 58	S. 59	S. 60	S. 61	S. 62
鹿島小	1,348	1,353	1,416	1,422	1,395	1,405	1,394	1,376	1,357	1,358	1,324
能古見小	383	378	403	405	400	403	395	391	381	366	356
浅浦分校	42	37	33	32	31	16	20	21	16	17	23
古枝小	336	331	319	307	283	280	268	269	274	296	310
浜小	462	457	458	440	413	402	393	369	356	369	356
北鹿島小	374	379	385	411	440	448	436	439	455	442	426
七浦小	382	387	408	400	400	393	390	375	365	378	352
音成分校	41	43	39	31	39	45	39	48	46	39	38
小学校計	3,368	3,365	3,461	3,448	3,401	3,392	3,335	3,288	3,250	3,265	3,185
西部中	1,238	1,192	1,095	1,035	1,041	1,087	1,136	1,111	1,133	1,141	1,174
東部中	665	653	615	597	613	629	608	599	588	557	525
中学校計	1,903	1,845	1,710	1,632	1,654	1,716	1,744	1,710	1,721	1,698	1,699

	S. 63	H. 元	H. 2	H. 3	H. 4	H. 5	H. 6	H. 7	H. 8	H. 9	H. 10
鹿島小	1,291	1,264	1,250	613	609	593	594	571	562	521	502
能古見小	354	341	327	328	318	323	301	302	300	289	281
浅浦分校	19	20	23	25	27	21	18	26	21	15	20
古枝小	305	312	307	297	288	280	283	285	272	261	248
浜小	344	355	357	350	352	350	346	316	298	280	257
北鹿島小	408	399	418	393	371	369	355	334	312	300	281
七浦小	358	335	334	339	316	322	306	297	285	263	255
音成分校	40	46	34	32	39	41	41	38	33	30	25
明倫小				633	663	669	677	667	651	632	610
小学校計	3,119	3,072	3,050	3,010	2,983	2,968	2,921	2,836	2,734	2,591	2,479
西部中	1,149	1,101	1,062	1,061	1,068	1,040	993	948	984	1,012	1,040
東部中	519	530	536	520	547	510	520	497	521	512	511
中学校計	1,668	1,631	1,598	1,581	1,615	1,550	1,513	1,445	1,505	1,524	1,551

	H. 11	H. 12	H. 13	H. 14	H. 15	H. 16	H. 17	H. 18	H. 19	H. 20	H. 21
鹿島小	493	501	507	463	465	452	449	453	429	435	433
能古見小	276	295	295	297	291	279	259	234	210	200	204
浅浦分校	20	14	19	20	17	13	9	12	14	9	7
古枝小	247	235	226	228	233	235	227	228	235	235	237
浜小	243	233	240	215	217	212	237	227	232	242	234
北鹿島小	254	240	235	246	233	239	238	240	239	218	225
七浦小	231	210	195	187	184	183	176	157	158	153	155
音成分校	28	28	25	25	23	21	24	18	17	23	22
明倫小	613	602	601	609	587	566	558	554	542	534	501
小学校計	2,405	2,358	2,343	2,290	2,250	2,200	2,177	2,123	2,076	2,049	2,018
西部中	987	896	830	808	819	830	828	818	792	763	739
東部中	473	467	427	415	373	358	333	336	326	312	306
中学校計	1,460	1,363	1,257	1,223	1,192	1,188	1,161	1,154	1,118	1,075	1,045

	H. 22	H. 23	H. 24	H. 25	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	R. 1	R. 2
鹿島小	422	419	411	394	372	345	361	364	376	368	373
能古見小	186	188	182	179	181	175	175	173	167	163	155
浅浦分校	10	10	7	6	6	7	5	0	—	—	—
古枝小	230	223	226	213	206	198	193	191	191	196	201
浜小	218	190	188	172	156	144	156	152	145	147	139
北鹿島小	210	206	197	192	187	192	184	185	178	179	164
七浦小	151	142	145	129	116	114	106	101	99	98	98
音成分校	16	10	13	12	14	14	12	16	19	18	15
明倫小	506	467	448	453	455	456	430	459	445	442	439
小学校計	1,949	1,855	1,817	1,750	1,693	1,645	1,622	1,641	1,620	1,611	1,584
西部中	709	686	686	686	679	654	598	560	539	548	564
東部中	309	332	310	314	295	318	285	249	230	218	229
中学校計	1,018	1,018	996	1,000	974	972	883	809	769	766	793

	R. 3	R. 4	R. 5
鹿島小	365	357	333
能古見小	145	164	152
浅浦分校	—	—	—
古枝小	204	196	192
浜小	138	129	125
北鹿島小	169	169	169
七浦小	89	93	100
音成分校	14	12	12
明倫小	442	447	444
小学校計	1,566	1,567	1,527
西部中	554	520	516
東部中	222	226	206
中学校計	776	746	722

(2) 学級数の推移

		S. 30	S. 35	S. 40	S. 45	S. 50	S. 55	S. 60	H. 元	H. 2	H. 3	H. 4
小学校	児童数	5,505	6,151	4,841	4,036	3,474	3,448	3,250	3,072	3,050	3,010	2,983
	学級数	-	-	-	-	-	112	107	105	105	108	106
中学校	生徒数	2,707	2,582	2,929	2,276	1,932	1,632	1,712	1,631	1,598	1,581	1,615
	学級数	-	-	-	-	-	41	43	46	45	44	44
1学級 平均 人数	小学校	-	-	-	-	-	30.8	30.4	29.3	29.0	27.9	28.1
	中学校	-	-	-	-	-	39.8	40.0	35.5	35.5	35.9	36.7

		H. 5	H. 6	H. 7	H. 8	H. 9	H. 10	H. 11	H. 12	H. 13	H. 14	H. 15
小学校	児童数	2,968	2,921	2,836	2,734	2,591	2,479	2,405	2,358	2,343	2,290	2,250
	学級数	103	103	101	102	97	93	91	87	86	83	81
中学校	生徒数	1,550	1,513	1,445	1,505	1,524	1,551	1,460	1,363	1,257	1,223	1,192
	学級数	42	42	41	42	42	43	41	39	36	35	35
1学級 平均 人数	小学校	28.8	28.9	28.1	26.8	26.7	26.7	26.4	27.1	27.2	27.6	27.8
	中学校	36.9	36.0	35.2	35.8	36.3	36.1	35.6	34.9	34.9	34.9	34.1

		H. 16	H. 17	H. 18	H. 19	H. 20	H. 21	H. 22	H. 23	H. 24	H. 25	H. 26
小学校	児童数	2,200	2,177	2,123	2,076	2,049	2,018	1,949	1,855	1,817	1,750	1,693
	学級数	81	83	81	82	79	76	73	73	74	75	74
中学校	生徒数	1,188	1,161	1,154	1,118	1,075	1,045	1,018	1,018	996	1,000	974
	学級数	34	33	33	33	33	32	31	31	30	30	31
1学級 平均 人数	小学校	27.2	26.2	26.2	25.3	25.9	26.6	26.7	25.4	24.6	23.3	22.9
	中学校	34.9	35.2	35.0	33.9	32.6	32.7	32.8	32.8	33.2	33.3	31.4

		H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	R. 1	R. 2	R. 3	R. 4	R. 5
小学校	児童数	1,645	1,622	1,641	1,620	1,611	1,584	1,566	1,567	1,527
	学級数	75	75	74	76	77	79	83	82	78
中学校	生徒数	972	883	809	769	766	793	776	746	722
	学級数	32	29	27	28	29	26	28	28	29
1学級 平均 人数	小学校	21.9	21.6	22.2	21.3	20.9	20.1	18.9	19.1	19.6
	中学校	30.4	30.4	30.0	27.5	26.4	30.5	27.7	26.6	24.9

8 市内小中学校教職員数一覧表

令和5年5月1日現在

学校名	県費職員														小計	図書事務	用務	支援員	合計
	校長	副校長	統括事務長	教頭	事務長	主幹教諭	指導教諭	教諭	講師	養護教諭等	事務主任等	栄養教諭	学校栄養職員						
鹿島小	1	0	0	1	0	0	0	22	3	1	1	0	0	29	1	1	5	36	
能古見小	1	0	0	1	0	0	1	9	1	2	1	0	0	16	1	1	2	20	
古枝小	1	0	0	1	0	0	0	14	1	1	1	0	0	19	1	1	4	25	
浜小	1	0	0	1	0	0	0	11	3	1	1	0	1	19	1	1	3	24	
北鹿島小	1	0	0	1	0	0	0	11	1	1	1	0	0	16	1	1	2	20	
七浦小	1	0	0	1	0	0	0	11	1	1	1	0	0	16	1	1	1	19	
明倫小	1	0	0	2	0	0	1	21	1	1	1	1	0	29	1	1	4	35	
合計	7	0	0	8	0	0	2	99	11	8	7	1	1	144	7	7	21	179	

西部中	1	0	1	1	0	1	2	30	4	2	2	0	0	44	1	1	4	50
東部中	1	0	0	1	1	0	0	17	1	1	1	0	1	24	1	1	3	29
合計	2	0	1	2	1	1	2	47	5	3	3	0	1	68	2	2	7	79

小中合計	9	0	1	10	1	1	4	146	16	11	10	1	2	212	9	9	28	258
------	---	---	---	----	---	---	---	-----	----	----	----	---	---	-----	---	---	----	-----

※休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休業者代替者を含む

教 育 財 政

1 令和5年度一般会計予算

(単位:千円)

歳 入		歳 出	
款	金 額	款	金 額
1. 市 税	3,067,167	1. 議 会 費	155,622
2. 地 方 譲 与 税	125,900	2. 総 務 費	3,131,171
3. 利 子 割 交 付 金	1,000	3. 民 生 費	5,234,003
4. 配 当 割 交 付 金	11,000	4. 衛 生 費	1,086,310
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	12,000	5. 労 働 費	62,272
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	47,000	6. 農 林 水 産 業 費	978,838
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	740,000	7. 商 工 費	487,062
8. 環 境 性 能 割 交 付 金	9,400	8. 土 木 費	986,046
9. 地 方 特 例 交 付 金	24,000	9. 消 防 費	429,440
10. 地 方 交 付 税	3,930,000	10. 教 育 費	1,370,885
11. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,500	11. 災 害 復 旧 費	22
12. 分 担 金 及 び 負 担 金	128,716	12. 公 債 費	1,005,317
13. 使 用 料 及 び 手 数 料	219,384	13. 諸 支 出 金	542,012
14. 国 庫 支 出 金	2,078,052	14. 予 備 費	40,000
15. 県 支 出 金	1,577,309		
16. 財 産 収 入	2,367		
17. 寄 附 金	800,368		
18. 繰 入 金	609,092		
19. 繰 越 金	1		
20. 諸 収 入	458,544		
21. 市 債	1,662,200		
歳 入 合 計	15,509,000	歳 出 合 計	15,509,000

2 令和5年度教育費予算

(単位:千円)

項 目		金 額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1. 教育総務費	1. 教育委員会費	2,545				2,545
	2. 事務局費	163,297	9,755		26,952	126,590
	計	165,842	9,755		26,952	129,135
2. 小学校費	1. 学校管理費	368,780	52,883	118,700	18,575	178,622
	2. 教育振興費	12,936	1,481		3,500	7,955
	計	381,716	54,364	118,700	22,075	186,577
3. 中学校費	1. 学校管理費	81,342	4,237	4,900	9,710	62,495
	2. 教育振興費	10,031	831		1,120	8,080
	計	91,373	5,068		10,830	70,575
4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	91,690	442		1,100	90,148
	2. 公民館費	64,117			971	63,146
	3. 生涯学習推進費	138,413			3,245	135,168
	4. 図書館費	73,350			2,000	71,350
	5. 社会同和教育費	12,416	3,129			9,287
	6. 文化財保護対策費	110,807	49,607	17,800	15,170	28,230
	計	490,793	53,178		22,486	397,329
5. 保健体育費	1. 保健体育総務費	50,151	23,199		10,353	16,599
	2. 体育施設管理費	84,537			6,487	78,050
	3. 学校給食費	106,473			38	106,435
	計	241,161	23,199		16,878	201,084
合 計		1,370,885	145,564	118,700	99,221	984,700

3 教育費(決算)の推移

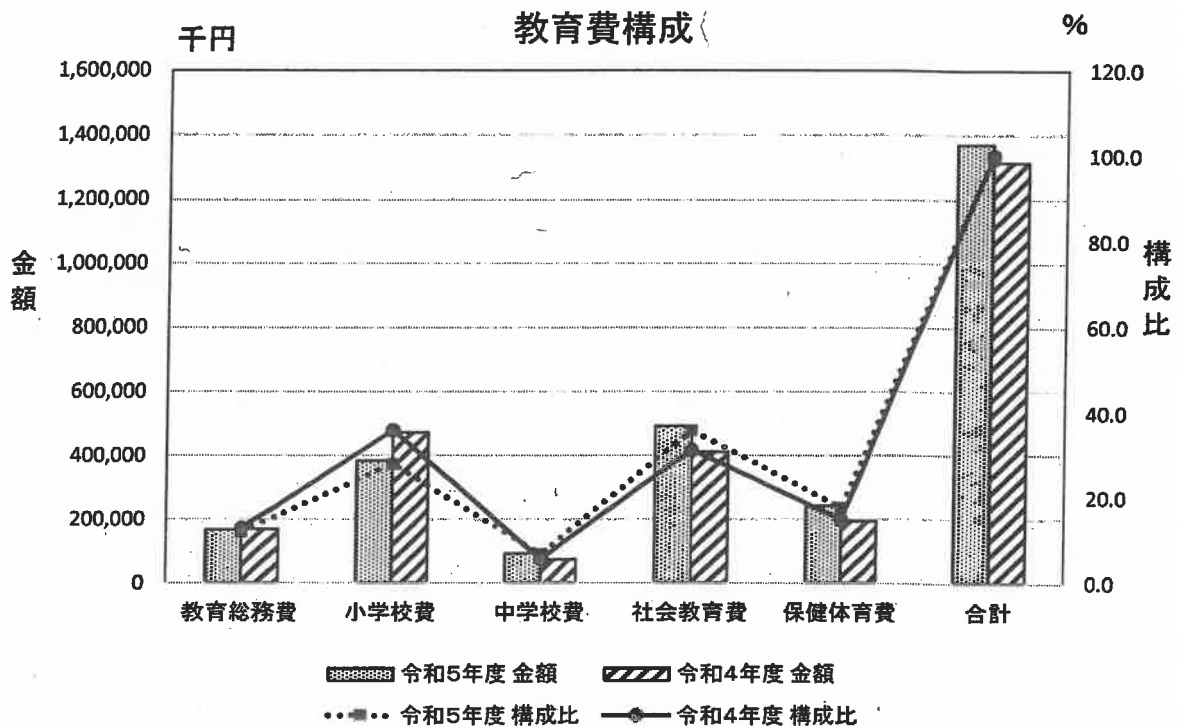
(単位:千円)

年度	一般会計(A)	教育費(B)	B/A %	備 考
平成2年度	11,272,618	1,730,587	15.4	明倫小新築
平成3年度	12,155,444	1,059,600	8.7	明倫小プール
平成4年度	13,200,450	1,056,779	8.0	西部中大規模改修
平成5年度	13,410,055	987,142	7.4	〃
平成6年度	12,851,192	1,028,694	8.0	〃
平成7年度	12,960,068	1,016,672	7.8	〃
平成8年度	12,619,369	994,723	7.9	大規模改造工事(空調設備)
平成9年度	12,569,065	1,096,199	8.7	〃 (浜小)
平成10年度	13,253,484	1,585,640	12.0	大規模改造工事(古枝体育館)
平成11年度	13,682,144	1,636,881	12.0	生涯学習センター建設
平成12年度	14,370,878	2,658,211	18.5	〃
平成13年度	12,645,301	1,136,251	9.0	西部中大規模改造事業(窓枠サッシ改修)
平成14年度	13,153,741	1,123,294	8.5	〃、古枝小屋根改修 七浦小校舎大規模改造1期工事
平成15年度	12,207,566	1,232,420	10.1	〃、北鹿島小体育館屋根改修
平成16年度	11,925,714	1,287,028	10.8	〃、鹿島小体育館屋根改修 七浦小校舎大規模改造2期工事
平成17年度	11,594,939	1,156,843	10.0	七浦小体育館屋根改修
平成18年度	11,183,737	927,769	8.3	西部中屋根防水改修
平成19年度	11,502,527	1,225,437	10.7	能古見小校舎大規模改造1期工事 西部中学校舎体育館簡易耐震診断
平成20年度	11,909,260	1,145,221	9.6	能古見小校舎大規模改造2期工事
平成21年度	12,826,203	1,245,600	9.7	鹿島小学校北校舎改築工事(継続費) 浜小学校体育館耐震補強工事
平成22年度	12,866,702	1,560,589	12.1	鹿島小学校北校舎改築工事(継続費)
平成23年度	12,449,806	1,205,588	9.7	北鹿島小学校体育館耐震補強工事
平成24年度	12,900,093	1,255,778	9.7	能古見小体育館耐震補強及び大規模改造工事
平成25年度	13,038,029	1,303,715	10.0	東部中学校南棟・中棟校舎改築工事
平成26年度	14,722,021	2,218,644	15.1	東部中学校南棟・中棟校舎改築工事 鹿島小学校体育館耐震補強及び大規模改造工事
平成27年度	13,843,334	1,454,852	10.5	明倫小学校体育館吊り天井改修工事 西部中学校校舎大規模改造空調工事
平成28年度	15,211,168	1,192,512	7.8	北鹿島小学校プール改築工事 西部中学校北校舎他屋根防水工事
平成29年度	14,059,231	1,502,222	10.7	明倫小体育館・東部中体育館吊り天井改修工事 古枝小校舎・鹿島小管理棟大規模改造工事
平成30年度	14,554,778	1,076,157	7.4	西部中武道場吊り天井改修工事 学校給食センター食物アレルギー対策室増築工事
令和1年度	14,859,728	1,501,519	10.1	古枝小校舎大規模改造2期工事 東部中避難階段改修工事
令和2年度	18,364,402	1,533,580	8.4	明倫小大規模改造1期工事 小中学校一人一台端末整備
令和3年度	17,559,349	1,504,178	8.6	明倫小大規模改造2期工事
令和4年度	16,441,174	1,306,279	7.9	明倫小大規模改造3期工事
令和5年度	(当初予算) 15,509,000	(当初予算) 1,370,885	8.8	明倫小長寿命化改良事業

教育費構成比及び前年度対比(当初予算対比)

(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年度対比
教育総務費	165,842	12.1	167,856	12.8	△ 2,014	98.8
小学校費	381,716	27.8	470,538	35.8	△ 88,822	81.1
中学校費	91,373	6.7	72,757	5.5	18,616	125.6
社会教育費	490,793	35.8	410,325	31.2	80,468	119.6
保健体育費	241,161	17.6	193,324	14.8	47,837	124.7
合 計	1,370,885	100.0	1,314,800	100.1	56,085	104.3



学 校 施 設

1 学校施設現況表

(1) 小学校

学校名	児童数	校地						面積(m ²)				
		建物敷地		運動場		その他	計	鉄筋	その他鉄骨	木造	計	普通
		面積(m ²)	面積/1人当	面積(m ²)	面積/1人当							
鹿島小	331	12,017	36	7,174	22	1,615	20,806	5,379	219		5,598	15
能古見小	152	10,252	67	10,577	70	8,324	29,153	3,360	209	33	3,602	8
古枝小	192	8,496	44	9,224	48	1,554	19,274	3,277	34	69	3,380	9
浜小	125	7,730	62	4,882	39		12,612	3,689	62	5	3,756	10
北鹿島小	171	15,345	90	9,066	53	245	24,656	4,155	0	26	4,181	8
七浦小	100	6,159	62	12,274	123	5,016	23,449	3,333	86	67	3,486	8
音成分校	12	1,163	97	1,931	161	626	3,720	656			656	2
明倫小	440	15,764	36	11,941	27		27,705	5,975	69	55	6,099	17
計	1,523	76,926	51	67,069	44	17,380	161,375	29,824	679	255	30,758	77

※運動場面積はプール面積を含む

※校舎面積は学校倉庫等を含む
(放課後児童クラブを除く)

(2) 中学校

学校名	生徒数	校地						面積(m ²)				
		建物敷地		運動場		その他	計	鉄筋	その他鉄骨	木造	計	普通
		面積(m ²)	面積/1人当	面積(m ²)	面積/1人当							
西部中	514	19,848	39	24,197	47		44,045	8,418	860		9,278	19
東部中	206	14,111	69	17,139	83	3,349	34,599	6,235	390		6,625	10
計	720	33,959	47	41,336	57	3,349	78,644	14,653	1,250	0	15,903	29

※運動場面積はプール面積を含む

※校舎面積は学校倉庫等を含む

令和5年5月1日現在

建物																	プール		
校舎											屋内運動場								
教室数											面積(m ²)				面積(m ²)				
生活	理科	音楽	図工	家庭	視聴覚	パソコン	図書	特別活動	教育相談	その他	計	鉄筋	その他鉄骨	木造	計	大	小	計	
	1	1	1	1		1	1	9	2	1	33		1,066		1,066	375	175	550	
1	1	1	1	2		1	1	2	1		19	677			677	375	104	479	
	1	1	1	2		1	1	1	1	3	21	18	661	51	730	325	120	445	
1	1	1	1	1		1	1	3	1	1	22		660		660	325	120	445	
	1	1	1	1		1	1	7		1	22		659		659	300	107	407	
	1	1	1	1		1	1	2	1		17	681	46		727	325	120	445	
							1			1	4				0			0	
	1	1	1	1			1	1	2	5	30	1,118			1,118	375	150	525	
2	7	7	7	9	0	6	8	25	8	12	168	2,494	3,092	51	5,637	2,400	896	3,296	

※その他:少人数教室・多目的室等

建物																	プール	
校舎											屋内運動場							
教室数											面積(m ²)				面積(m ²)			
理科	音楽	美術	技術	家庭	視聴覚	パソコン	図書	特別活動	教育相談	その他	計	鉄筋	その他鉄骨	木造	計	大	計	
4	2	2	4	4	0	2	1	6	3	6	53	2,656			2,656	405	405	
2	2	1	2	2	0	2	1	8	3	1	34	1,065	739		1,804	400	400	
6	4	3	6	6	0	4	2	14	6	7	87	3,721	739		4,460	805	805	

※その他:少人数教室・多目的室等

2 鹿島市立小中学校 校舎等主要施設一覽

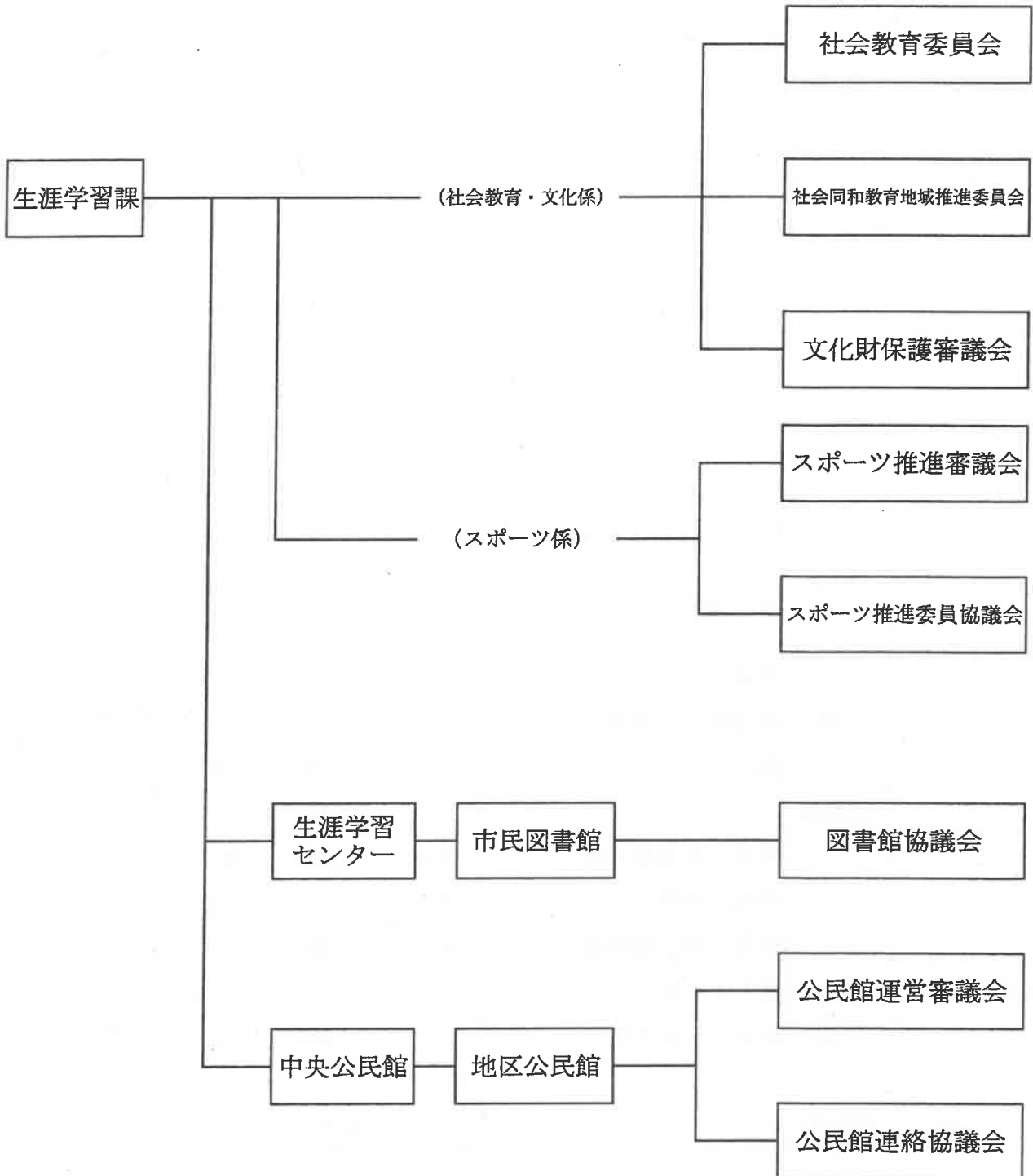
学校名	種別	摘要	構造階数	保有面積	建築年	備考
鹿島小学校	校舎	特別・普通教室棟	R3	3,193	H22.11	
		管理・特別・普通教室棟	R3	2,186	S59.7	放課後児童クラブ73㎡
	屋体	体育館	S2	1,066	S54.3	
	プール	屋外プール	R	1,274	S40	
	運動場			5,900		
能古見小学校	校舎	普通教室棟	R2	1,823	S55.2	放課後児童クラブ65㎡
		管理・特別教室棟	R2	1,537	S56.2	
	屋体	体育館	R2	677	S54.3	
	プール	屋外プール	R	479	S38	
	運動場			10,098		
古枝小学校	校舎	特別・普通教室棟	R3	2,033	S57.2	
		管理・普通教室棟	R2	1,244	S57.12	
	屋体	体育館	S2	696	S47.12	
	プール	屋外プール	R	924	S43	
	運動場			8,300		
浜小学校	校舎	管理・特別・普通教室棟	R3	1,860	S45.2	
		特別・普通教室棟	R3	1,829	S60.12	放課後児童クラブ67㎡
	屋体	体育館	S2	660	S45.10	
	プール	屋外プール	R	941	S45	
	運動場			3,941		
北鹿島小学校	校舎	管理・特別・普通教室棟	R2	3,766	S63.9	
		特別教室棟	R1	144	S63.9	
	連携)	地域・学校連携施設	R1	174	S63.9	
	屋体	体育館	S2	659	S54.3	
	プール	屋外プール	ステンレス	828	H28.6	
	運動場			8,238		

学校名	種別	摘要	構造階数	保有面積	建築年	備考
七浦小学校	校舎	特別・普通教室棟	R3	1,759	S54.3	放課後児童クラブ65㎡
		管理・特別・普通教室棟	R2	1,574	S55.2	
	屋体	体育館	R1	727	S55.2	
	プール	屋外プール	R	1,024	S43	
	運動場			11,250		
七浦小学校 音成分校	校舎	管理・普通教室棟	R2	656	H2.3	
	運動場			1,931		
明倫小学校	校舎	管理・特別・普通教室棟	R2	5,508	H3.1	
		特別教室棟	R2	319	H3.1	
	連携	地域・学校連携施設	R2	148	H3.1	放課後児童クラブ63㎡
	屋体	体育館	R2	1,118	H3.1	
	プール	屋外プール	アルミ	1,160	H3	
	運動場			10,781		
西部中学校	校舎	普通教室棟	R3	2,155	S49.3	
		管理・特別・普通教室棟	R3	3,291	S50.3	
		特別教室棟	R3	2,323	S50.8	
			S1	514	S51.6	技術室
		昇降口	R2	639	S50.8	
	屋体	体育館・武道場	R3	2,656	S50.6	武道場R1/ 958㎡
	プール	屋外プール	FRP	761	S51	
	運動場			23,436		
東部中学校	校舎	特別・普通教室棟	R3	3,283	H26.11	
		特別教室棟	R1	316	H26.11	技術室
		管理・特別教室棟	R3	2,387	S53.3	
	その他	屋外便所棟	R1	249	H26.11	防災施設
	屋体	体育館・武道場	R2	1,804	S42.7	武道場S2/ 739㎡
	プール	屋外プール	ステンレス	1,052	H21.3	
	運動場			16,087		

社会教育

1 社会教育の組織・機構

(1) 社会教育機構図

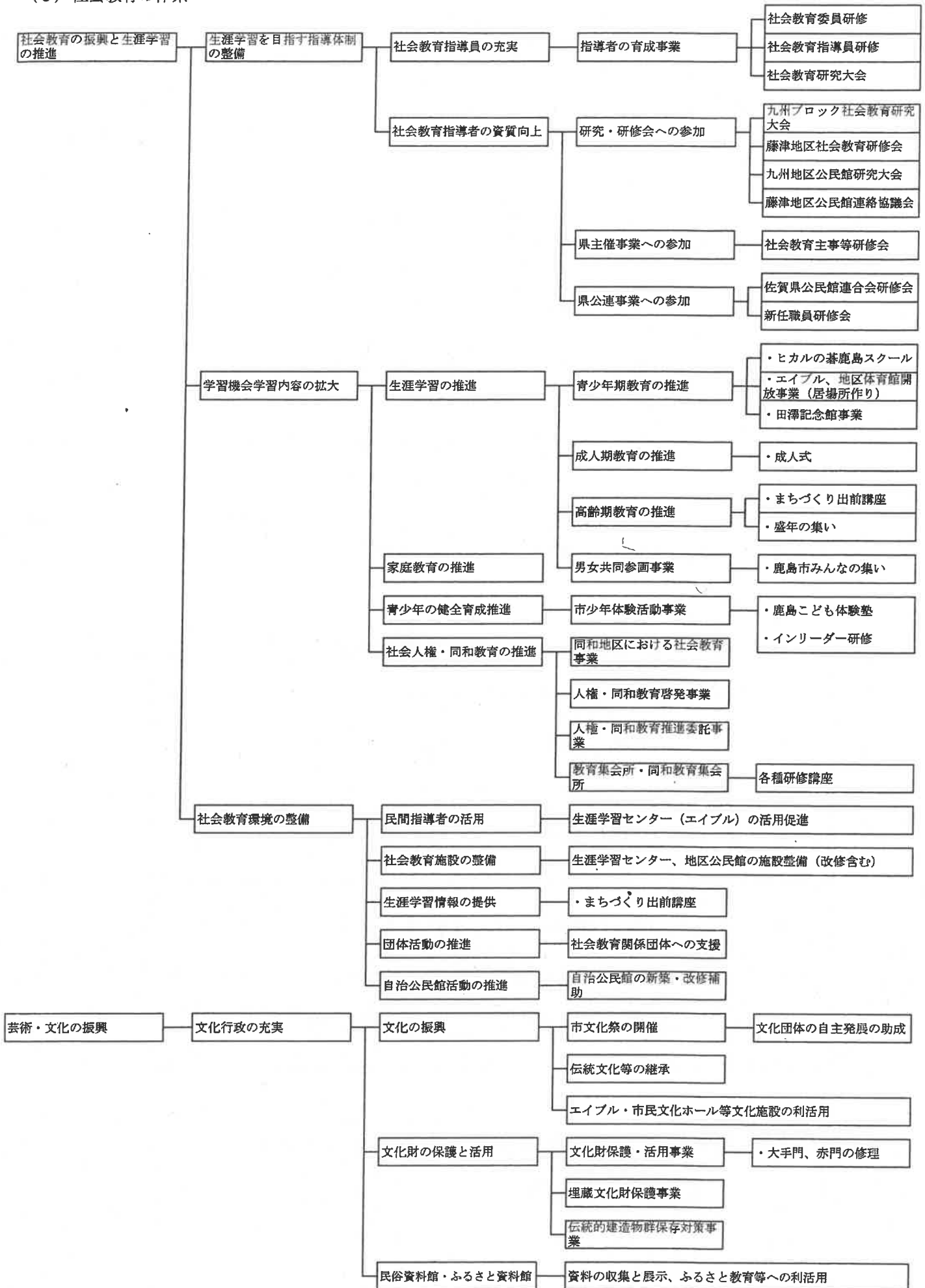


(2) 鹿島市社会教育委員 兼 鹿島市公民館運営審議会委員名簿

	氏 名	備 考
1	松本 真	学識経験者
2	池田 厚子	学識経験者
3	田中 武博	学校教育関係 (校長会代表)
4	稲葉 優子	社会教育関係
5	北村 恵理子	学識経験者
6	中尾 悦次	社会教育関係
7	平田 佳代	社会教育関係
8	岡 幸好	P T A 代表
9	松尾 壮一郎	鹿島青年会議所

【任 期】 令和5年6月1日～令和7年5月31日

(3) 社会教育の体系



(4) 鹿島市公民館施設一覧

施設名	所在地	規模 (㎡) ・内容	備考
鹿島公民館	鹿島市大字高津原 4 3 2 6 番地 1 (新町) 鉄筋コンクリート 4 階建	事務室 52 その他 16 計 68	市民交流プラザ (かたらい) 3 階 【鹿島公民館運営協議会】
能古見公民館	鹿島市大字山浦甲 2 1 5 1 (大殿分) 木造平屋建 (一部コンクリート)	事務室 30 学習室 59.4 情報室 59.4 実習室 64.8 和室 47.25 和室 47.25 和室 40.5 調理室 48.6 茶室 15.21 浴室 38.88 その他 472.14 計 923.43	体育館併設 (のごみふれあい 楽習館体育館)、 多目的広場 (能古見小学校東) 【能古見地区振興会】
古枝公民館	鹿島市古枝甲 1 4 4 8-1 (下古枝) 鉄筋コンクリート 2 階建	大会議室 101.25 中会議室 34.44 図書館 25.99 小会議室 16.23 料理教室 39.6 ロビー 72.01 事務室 17.22 その他 102.32 計 409.06	林業センター、 林業体育館、 民俗資料館併設 (古枝小学校南) 【古枝地区振興会】

※備考の【 】内は、指定管理者名

施設名	所在地	規模 (㎡) ・内容	備考
浜公民館	鹿島市浜町甲 4401-2(庄金) 鉄筋コンクリート 2階建	会議室 73.69 ミーティング室 36.92 中会議室 32.81 事務室 28.07 ロビー 36.72 トレーニング室 101.54 その他 176.92 計 486.67	臥竜ヶ岡体育館 540㎡併設 (臥竜ヶ岡公園内) 【浜町振興会】
北鹿島公民館	鹿島市大字常広 101-1(常広) 鉄筋コンクリート 2階建	大会議室 105 会議室 35 図書館 35 講義室 18.2 調理実習室 16.8 集会・ロビー 36.4 事務室 16.8 その他 86.8 計 370.9	(乙丸歩道橋北側 100m) 【北鹿島振興協議会】
七浦公民館	鹿島市大字音成戊 1922-19 (嘉瀬ノ浦) 鉄筋コンクリート 2階建	大会議室 144 会議室(第1) 26.6 会議室(第2) 26.32 料理教室 32.5 図書閲覧所 14 ホール・ロビー 49.53 事務室 24.32 その他 106.38 計 423.65	漁村センター併設 実習室 32.35㎡ 培養室 17.50㎡ (七浦小学校西北 200m) 【七浦地区振興会】

※備考の【 】内は、指定管理者名。

(5)鹿島市青少年育成市民会議構成団体 代表者名簿

(任期:R5.6.1~R7.5.31)

番号	推 薦 団 体 名	氏 名	備 考	
1	浜地区青少年育成地区民会議 会長	中 島 貞 紀	会 長	
2	七浦地区青少年育成地区民会議 会長	池 田 雅 広	副会長	
3	鹿島地区青少年育成会議 副会長	力 田 賢 次	幹 事	
4	北鹿島地区青少年育成地区民会議 会長	田 中 照 彦		
5	能古見地区青少年育成地区民会議 会長	高 田 孝 二 郎		
6	古枝地区青少年育成会議 会長	新 宮 信 二		
7	能古見地区青少年育成アドバイザー	松 本 有 弘		
8	浜地区青少年育成アドバイザー	中 村 雄 一 郎		
9	鹿島市連合青年団	竹 下 宏 紀		
10	鹿島ロータリークラブ	高 松 茂 信		
11	鹿島ライオンズクラブ	坂 本 鉄 也		
12	鹿島市PTA連合会	長 友 篤 志		
13	鹿島市子ども会連絡協議会	馬 場 照 夫		
14	鹿島青年会議所	福 田 晃 一		
15	鹿島地区青少年育成アドバイザー	中 村 タミ子		
16	能古見地区推進指導者	福 田 珠 美		
17	鹿島市区長会	林 圭 一 郎		
18	鹿島市スポーツ少年団	木 下 明 信		
19	ボーイスカウト鹿島第1団	中 島 来		
20	小学校児童指導	樋 口 祥 太		
21	中学校生徒指導	副 島 政 典		
22	高校生生徒指導	澤 山 政 彦		
23	鹿島市民生児童委員連絡協議会	中 村 和 代		
24	鹿島保護区保護司会	松 浦 豊		
25	鹿島市交通安全指導員会	諸 岡 文 男		
26	鹿島市ボランティア連絡協議会	田 中 勝 子		
27	鹿島地区少年補導員連絡協議会	藤 松 義 将		
28	鹿島警察署	霧 項 平		
29	鹿島市教育委員会生涯学習課	嶋 江 克 彰	事務局長	

(6) 鹿島市青少年問題協議会委員名簿

任期(2年) R4.7.1~R6.6.30

条例事項	定数	機関・団体名	役職	氏名
条例施行規則				
第2条第1項	1	鹿島市	市長	松尾勝利
第3条第1号	2	鹿島市議会	市議会議員	松田義太
		〃	〃	勝屋弘貞
第3条第2号	1	鹿島市	副市長	鳥飼広敬
第3条第3号	2	〃	総務部長	川原逸生
		〃	市民部長	岩下善孝
第3条第4号	1	鹿島市教育委員会	委員	山口知子
第3条第5号	3	鹿島市教育委員会	教育長	中村和彦
		〃	教育総務課長	江頭憲和
		〃	生涯学習課長	嶋江克彰
第3条第6号	4	鹿島区検察庁	検察官副検事	白石浩行
		鹿島公共職業安定所	所長	宮崎佐津美
		鹿島警察署	署長	辻俊彦
		杵藤保健福祉事務所	所長	源五郎丸靖
第3条第7号	3	鹿島市社会教育委員	委員	池田厚子
		民生児童委員協議会		小森厚子
		保護司会	委員	中村タミ子
第3条第8号 (学識経験者)	7	鹿島高等学校	校長	江口孝之
		市内小中学校長会	鹿島小学校長	橋本良子
		青少年団体代表	ボーイスカウト鹿島	平田佳代
		鹿島市PTA連合会	理事	松尾賢一
		鹿島市青少年育成市民会議	副会長	池田雅広
		鹿島青年会議所	事務局長	福田晃一
		交通安全指導員会	会長	諸岡文男

(7) 鹿島市関係指定文化財一覧 (1/2)

令和5年6月1日現在

指定別	種別	名 称	所在地	指定年月日
国指定 8件	彫刻	木造阿弥陀如来坐像 1躯	大殿分 蓮厳院	昭25. 8. 29 大2. 8. 20(国宝)
		木造阿弥陀如来坐像 1躯		
		木造薬師如来坐像 1躯		
	天然記念物	カササギ生息地	佐賀県内 ※一部地域を除く	大12. 3. 7
		ヤマネ	藤津郡太良町	昭50. 6. 26
重要伝統的建造物 群保存地区	鹿島市浜庄津町浜金屋町	浜町地区	平18. 7. 5	
		鹿島市浜中町八本木宿		浜町地区
無形文化財	木版摺更紗(鈴田滋人)	大殿分	平20. 9. 11(認定)	
県指定 10件	彫刻	銅造菩薩形坐像 1躯	佐賀県立博物館(普明寺)	昭60. 3. 20
	工芸品	太刀 1口	上古枝 祐徳博物館	昭61. 3. 19
		銘(表 備州長船康光 裏 應永30年3月日)		
	建造物	鹿島城赤門及び大手門 2棟 (附)赤門の続塀及び大手門の続塀 4棟 赤門棟札(文化五年の銘あり) 1枚	城内 赤門 大手 大手門	昭33. 1. 23 (附)昭49. 2. 25
		祐徳稲荷神社境内社命婦社 1棟 (附)棟札 3枚 (享和四年 大正元年 大正15年の記があるもの)	上古枝 祐徳稲荷神社	昭52. 3. 11
	考古資料	旭ヶ岡遺跡出土の鉄戈 1点 (附)甕棺 1点	鹿島市教育委員会	令2年4月30日
	歴史資料	鹿島鍋島家資料 857点	上古枝 祐徳博物館	昭56. 3. 16
	史跡	鬼塚	行成 誕生院	昭52. 3. 11 市指定昭49. 4. 1
	重要無形民俗	音成の面浮立	音成	昭35. 3. 24 選択昭53. 1. 31
		母ヶ浦の面浮立	母ヶ浦	昭52. 3. 11
琴路神社の神幸祭行事		行成 琴路神社	平30. 3. 29	
市指定 31件	彫刻	木造羅漢像 16躯・木造頂相像 1躯	野島 泰智寺	昭61. 3. 5
		木造座像 1対・木造狛犬 1対	中尾 中尾天満宮	昭63. 8. 22
		龍宿浦の面浮立の面 1対	鹿島市教育委員会(龍宿浦区)	平2. 3. 1
		飯田の面浮立の面 1面	飯田	
		木造菩薩立像 1躯	城内 信福寺	平5. 3. 18
		松山神社 木造神像(如来形) 1躯	大木庭 松山神社	令4. 11. 7
	工芸品	石造六地藏 1基	飯田 本浦観音堂境内	昭49. 4. 1
		石造狛犬 1対	浅浦 救世神社	昭53. 3. 29
		鹿島錦紗綾形文笄迫 1点	上古枝 祐徳博物館	平3. 2. 7
		三界万霊塔地藏菩薩立像 1躯	浅浦 道雀墓地内	平9. 3. 6
		三界万霊塔地藏菩薩半跏像 1躯	高津原 幽照寺	
		石造如来座像 2躯	大殿分 蓮厳院	平10. 2. 6
		石造十一面観音菩薩座像 1躯		
	岩屋山興法寺鰐口 11個			
	建造物	筒口山下の中世石塔群	大殿分 蓮厳院墓地	平21. 4. 1
浅浦嬉野氏墓地の人形墓石墓 5基		浅浦	平23. 5. 2	
建造物	武家屋敷棟門 1棟 (附)続塀	城内 鹿島市	昭61. 3. 5	
	旧乗田家住宅 1棟	大村方 鹿島市	平17. 10. 7	
考古資料	岩屋山経塚出土遺物 3点	鹿島市教育委員会	昭49. 4. 1	
	片山経塚出土遺物 7点	上古枝 祐徳博物館	平15. 4. 17	
	旭ヶ岡遺跡出土遺物 15点	鹿島市教育委員会	令元. 7. 1	
史跡	藤の森	末光	昭53. 3. 29	
	普明寺とその寺域	久保山 普明寺	昭55. 3. 28	
重要無形民俗	浅浦の面浮立	浅浦	昭58. 3. 23	
歴史資料	鹿島小学校校務日誌 103冊	横田 鹿島小学校	平13. 3. 30	
	能面切型図 1巻	上古枝 祐徳博物館	平16. 4. 20	
	明治期の鹿島市内旧地籍図 793枚	鹿島市教育委員会	平20. 7. 31	
	明治9年地租改正地引絵図及び取調台帳・地所調帳 絵図 10枚、取調野帳・地所調帳 180冊	鹿島市教育委員会ほか	平25. 5. 1 平26. 12. 1(追加) 平29. 5. 1(追加)	
	井原喜代太郎日記 8冊	鹿島市教育委員会	平26. 5. 1	
天然記念物	岩屋観音のイロハモミジ 1本	川内 岩屋山興法寺	平13. 3. 30	
重要伝統的建造物 群保存地区	鹿島市浜庄津町浜金屋町	浜町地区	国選定平18. 7. 5 市指定平18. 2. 6	
	鹿島市浜中町八本木宿	浜町地区		

(7) 鹿島市関係指定文化財一覧 (2/2)

令和5年6月1日現在

指定別	種別	名 称	所在地	指定年月日
国登録 8箇所 (27件)	建造物	富久千代酒造 一号蔵・精米所・麴室(3件)	浜新町 富久千代酒造	平16.11.8 平16.11.29告示
		肥前浜宿継場 主屋(1件)	八宿 肥前浜宿継場	
		呉竹酒造 主屋・一番蔵・東の蔵(3件)	中町 呉竹酒造	
		矢野酒造 主屋・離れ・旧精米所・東蔵 中蔵・西蔵・麴室(7件)	新町 矢野酒造	平18.8.3 平18.8.24告示
		飯盛酒造 主屋・1号蔵及び2号蔵・3号蔵 麴室・煙突(5件)	大村方 飯盛酒造	
		中島酒造場 主屋・仕込蔵・西蔵・麴室・土蔵(5件)	八宿 中島酒造場	
		旧中島政次家住宅 主屋(1件)	八宿 中島酒造場	
		吉田家住宅 主屋・土蔵(2件)	本町	平21.1.8 平21.1.22告示
県登録 2件	無形民俗文化財	浮立面製作 (小森恵雲・小森恵司)	古枝	令5.4.5
		浮立面製作 (中原恵峰)	西牟田	

(8) 市内文化財関連施設一覧

名称	所在地 (電話番号 ※市外局番0954)	備考
肥前浜宿継場	鹿島市浜町乙2696 (69-8004)	公立(NPO肥前浜宿水とまちなみの会)
民俗資料館	鹿島市古枝甲1448 (62-2749)	公立(古枝公民館)
旧乗田家住宅	鹿島市古枝甲115 (69-8004)	公立(NPO肥前浜宿水とまちなみの会)
祐徳博物館	鹿島市古枝乙1686 (62-2151)	民間(祐徳稻荷神社)
染織資料館	鹿島市大字山浦甲1524 (63-4085)	民間(のごみ人形工房)
ふるさと資料館	鹿島市大字納富分2643番地1	公立(市民文化ホール内) ※9月開館

(9) 鹿島市文化財保護審議会委員

(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	専門分野	備考
鈴田 滋人	美術工芸	
中村 久子	古文書	
馬場 泰造	建築	
大石 一久	郷土史全般・石造物	
高橋 研一	古文書・郷土史	
石井 美恵	美術工芸	

〔鹿島市文化財保護審議会条例第3条〕

(10) 鹿島市図書館協議会委員

(任期：令和4年6月1日～令和6年5月31日)

氏名	選出区分	備考
杉原 潔	学識経験者	
吉牟田 満	学識経験者	
吉武 弘美	学識経験者	
永田 直子	学識経験者	
藤川 直子	学識経験者	
橋本 良子	学校教育関係	
西河 弘史	幼稚園・保育園関係	

〔図書館法第15条〕

〔鹿島市民図書館設置条例第9条〕

(12) 鹿島市スポーツ推進審議会委員

令和5年6月1日現在

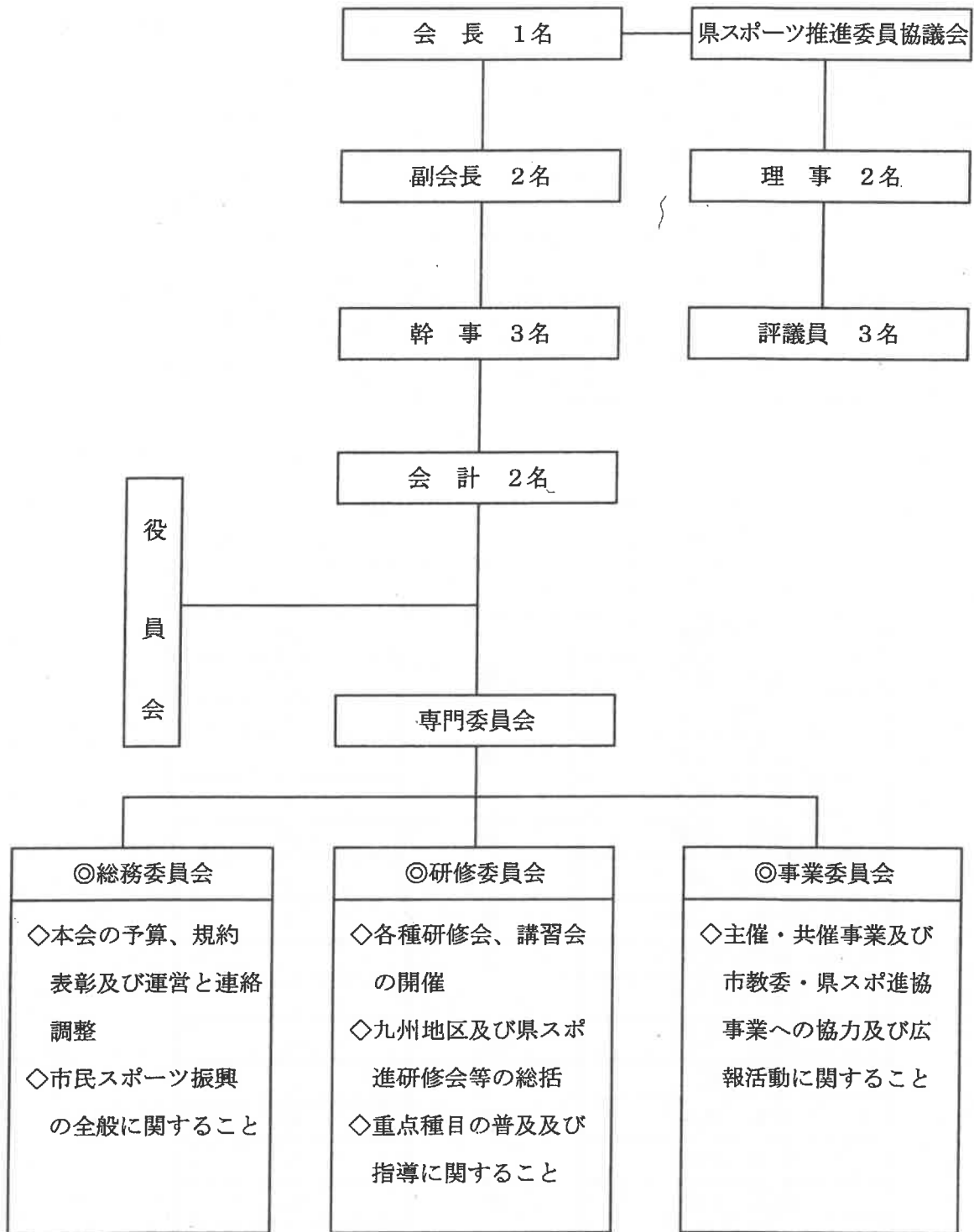
氏名	所属
織田 正道	(一財)鹿島市スポーツ協会
森田 隆弘	市区長会
山口 高広	市校長会
松本 静子	女性代表
徳村 小百合	職域代表
峰松 広行	学識者(市陸上競技協会)
藤松 義将	学識者(剣道連盟)
幸尾 和浩	学識者(市スポーツ推進委員協議会)
前田 良紀	市内中学校体育主任代表
山口 徹也	行政代表(市企画財政課)

鹿島市スポーツ推進委員

令和4年6月1日現在

氏名	地区	年数
津山 和繁	鹿島	25
亀本 潤子		新
下村 弘		新
山下 孝美		6
峰松 晃佑		3
植松 浩輔	能古見	新
淵上 聡		9
山口 しづか	古枝	7
田代 正和		7
吉村 さつき		5
野中 隆行	浜	3
中村 源二		17
市丸 貴子		新
中島 次雄	北鹿島	5
幸尾 和浩		21
山口 和志		10
宮本 典子	七浦	7
岡 幸好		2
小柳 昭一郎		5
松本 千春		3

(13) 鹿島市スポーツ推進委員協議会組織図



(14) 令和5年度 生涯学習課スポーツ事業計画

事業名	主催等	内容
第36回壮年ナイターソフトボール大会	市スポーツ推進委員協議会	中止
第68回鹿島市民スポーツフェスタ	市スポーツ協会	【運動会の部】 期日：5月28日（日） 場所：鹿島市陸上競技場 【種目大会の部】 期日：4～9月 場所：市内体育施設
第27回佐賀県さわやかスポーツ・レクリエーション祭	佐賀県	期日：5月28日（日） 場所：佐賀市・小城市・多久市
第76回県民スポーツ大会	佐賀県	期日：10月14日（土）・15日（日） 場所：鳥栖市・三神地区
第34回佐賀県グラウンドゴルフ選手権大会	市体育協会	期日：11月11日（土） 場所：陸上競技場、グラウンドゴルフ場
2024 クロカンフェスタinかしま	市体育協会	期日：1月28日（日） 場所：陸上競技場 参加：学童・一般の部
第71回公認 鹿島祐徳ロードレース大会	市体育協会	期日：2月25日（日） 場所：林業体育館周辺 参加：ハーフマラソン、 5km
スポーツライフ鹿島 (総合型地域スポーツクラブ)	市体育協会	期日：通年 場所：市内各施設
スポーツイベントの誘致及び スポーツ合宿の推進	実行委員会	期日：通年 場所：市内各施設

(15) 鹿島市における体育施設状況

種別	施設名	規模及び内容	建設年度	所在地等
競技場	鹿島市陸上競技場	総面積 28,500㎡ 日本陸連第3種公認 (H18~3種) 1周400m、8レーン メインスタンド 1,705人 芝生スタンド 7,219人	平8 一部照明 平8	鹿島市大字高津原字蟻尾地内 (蟻尾山公園内)
球場	鹿島市民球場	競技面積 14,073㎡ メインスタンド 937人 芝生スタンド 9,000人 夜間照明 6基 野球、ソフトボール	平13 照明 平15	鹿島市大字高津原字蟻尾地内 (蟻尾山公園内)
運動広場	祐徳運動広場A	総面積 10,795㎡ 野球、ソフトボール他	昭50	鹿島市古枝甲1501-2
	祐徳運動広場B	総面積 7,583㎡ 野球、ソフトボール他	昭50	鹿島市古枝甲1501-2
	中川公園運動広場	総面積 6,400㎡ 夜間照明 6基 ゲートボール、グラウンドゴルフ他	昭48 照明 昭48	鹿島市大字納富分字新道地内
	横田運動広場	総面積 4,241㎡ ゲートボール、グラウンドゴルフ他	昭48	鹿島市大字高津原362
	西三河内運動広場	総面積 3,805㎡ ゲートボール、グラウンドゴルフ他	昭48	鹿島市大字三河内丙377
	龍宿浦運動広場	総面積 2,342㎡ ゲートボール、グラウンドゴルフ他	昭48	鹿島市大字飯田丙1221
	飯田運動広場	総面積 4,966㎡ ソフトボール、グラウンドゴルフ他	昭51	鹿島市大字飯田乙3309
	母ヶ浦運動広場	総面積 7,269㎡ ソフトボール、グラウンドゴルフ他	昭54	鹿島市大字音成丙454-1
	鹿島市陸上競技場 サブグラウンド	総面積 8,400㎡ 夜間照明 4基 サッカー他	平8 照明 平15	鹿島市大字高津原字蟻尾地内 (蟻尾山公園内)
	鹿島市陸上競技場 自由広場	総面積 3,000㎡ グラウンドゴルフ他 (H17~芝へ)	平8	鹿島市大字高津原字蟻尾地内 (蟻尾山公園内)
	ミニスポーツ広場	競技面積 600㎡ フットサル、バスケット(3on3)	平17	鹿島市大字高津原字蟻尾地内 (蟻尾山公園内)
	市民体育館前運動広場	総面積 8,538㎡ サッカー他	昭55	鹿島市大字高津原227番地
その他広場	臥竜ヶ岡運動広場	総面積 3,500㎡ ソフトボール、グラウンドゴルフ他	昭51	鹿島市浜町字内前田
	浅浦農村運動広場	総面積 5,657㎡ ソフトボール、グラウンドゴルフ他	昭55	鹿島市大字三河内甲901
	北鹿島農村運動広場	総面積 5,013㎡ ソフトボール、グラウンドゴルフ他	昭55	鹿島市大字常広537

種別	施設名	規模及び内容	建設年度	所在地等
体育館	鹿島市民体育館	総面積 1,801㎡ アリーナ 1,260㎡ 観覧席 97㎡ バレーボール他	昭47	鹿島市大字高津原253
	鹿島市臥竜ヶ岡体育館	総面積 1,027㎡ アリーナ 540㎡ トレーニング室 102㎡ バレーボール他	昭52	鹿島市浜町甲4401-2
	鹿島市七浦海浜スポーツ公園体育館	総面積 870㎡ アリーナ 560㎡ ステージ 50㎡ バレーボール他	昭59	鹿島市大字音成甲4427-5
	鹿島市林業体育館	総面積 952㎡ アリーナ 675㎡ トレーニング室 67㎡ バレーボール他	昭61	鹿島市古枝甲1465-2
	鹿島市北鹿島体育館	総面積 1,276㎡ アリーナ 896㎡ ミーティングルーム 52㎡ バレーボール他	平2	鹿島市大字井手1758-1
	鹿島市のごみふれあい 楽習館体育館	総面積 1,339㎡ アリーナ 831㎡ ステージ 54㎡ バレーボール他	平5	鹿島市大字山浦甲2151
武道場	鹿島市民武道館	総面積 1,143㎡ 剣道場 270㎡ 柔道場 270㎡ 弓道場 412㎡	平元	鹿島市大字高津原561-1
コート ニ トス	北公園テニスコート	競技面積 7,700㎡ テニスコート 8面 (内、夜間照明 4面)	平10 照明 平10	鹿島市大字高津原字五本松地内
プ ー ル	鹿島市七浦海浜スポーツ公園プール	総面積 1,339㎡ 上屋付き 25m×13m 6コース 10m×6m 幼児プール	昭59	鹿島市大字音成甲4427-4
ヨ ット 場	鹿島市七浦海浜スポーツ公園艇庫	建物総面積 196㎡ クレーン設置 ヨット、カヌー、ボート他	昭59	鹿島市大字音成丙3606
グラ コン ニ ス	鹿島市陸上競技場 クロスカントリーコース	1周 1.4km 芝・土コース	平8	鹿島市大字高津原字蟻尾地内 (蟻尾山公園内)
相 撲 場	旭ヶ岡相撲場	土俵 1面	昭60	鹿島市大字高津原旭ヶ岡公園内
ゴ ルフ 場	鹿島市陸上競技場 グラウンドゴルフ場	芝コース 12ホール 日本G.G協会認定コース	平17	鹿島市大字高津原字蟻尾地内 (蟻尾山公園内)

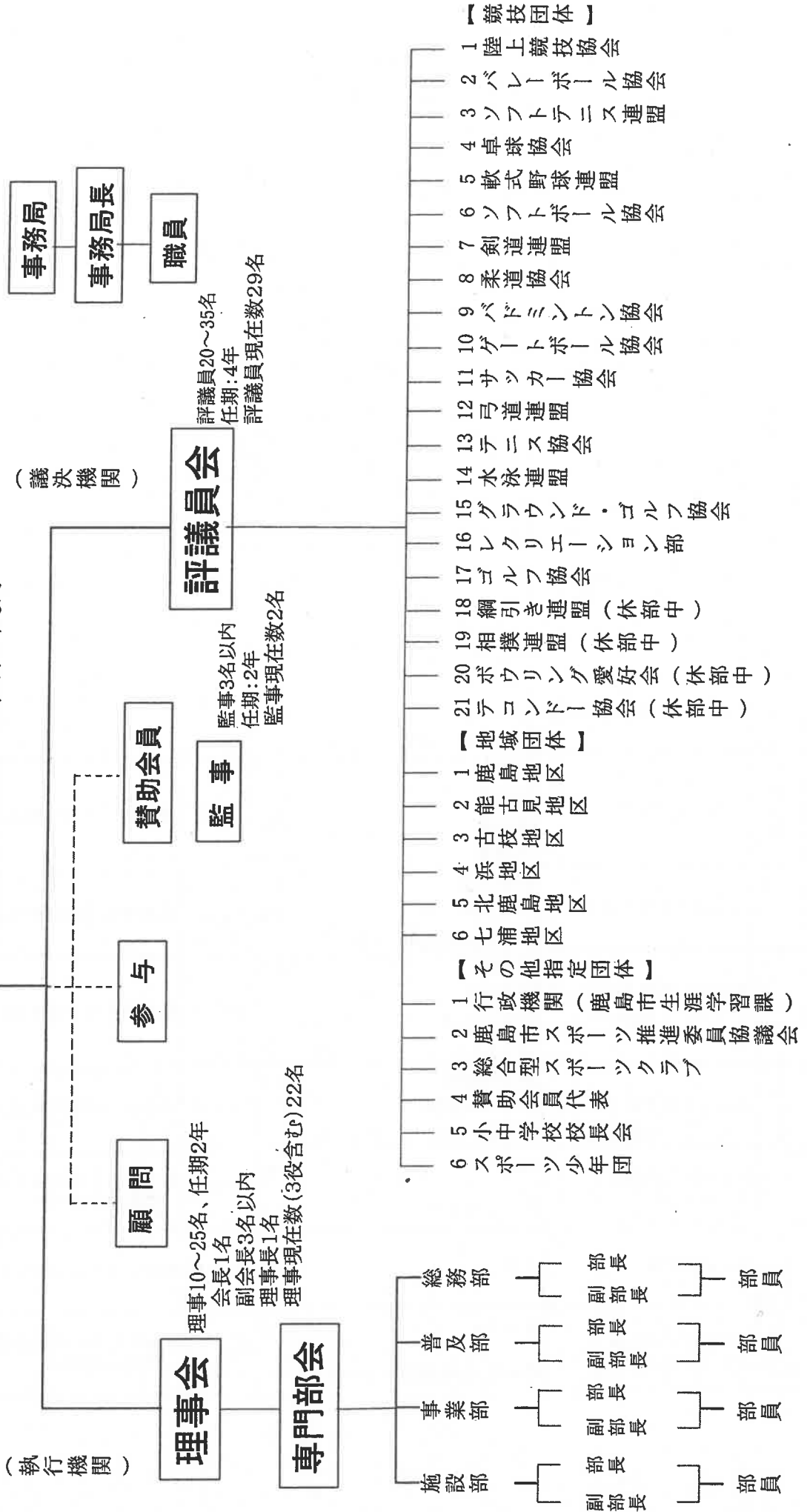
(16) 一般財団法人 鹿島市スポーツ協会 組織図

【事務局所在地】

〒 849-1312
 鹿島市大字納富分5900番地
 蟻尾山公園 鹿島市陸上競技場内
 電/ fax 0954-62-3379
 E-mail taikyoku@po.asunet.ne.jp
 URL http://www.asunet.ne.jp/~taikyoku/

一般財団法人 鹿島市スポーツ協会

事業年度：毎年4月1日～翌年3月31日まで



(17) 鹿島市生涯学習センター・エイブル（市民図書館）施設概要

(1) 所在及び面積等

・所在地	佐賀県鹿島市大字納富分2700番地1
・敷地の全体面積	5,759.43㎡
・建築面積	3,028.13㎡
・延べ建築面積	5,243.75㎡
・うち市民図書館部分	1,501.83㎡

(2) エイブル開館状況

・開館時間：平日	9:00～22:00
土日祝	9:00～17:00（事前予約でホールのみ～22:00可）
・休館日	：月曜 祝日の翌日 年末年始

(3) 建物各階の概要

1階	エントランスロビー 市民図書館（※詳細別途） 保健センター（いきいきルーム）
2階	ホール（298席） 音楽スタジオ（25名） 和室（30名） 調理実習室（40名） 学習室 交流プラザ 床の間コーナー 幼児室
3階	生活工房A・B 研修室（130名）

(4) 市民図書館 館内設備等

・閲覧席	121席
・視聴覚ブース	DVD：6ブース（14席）
・視聴覚ブース	DVD／ビデオ用：1ブース（2席）
・視聴覚ブース	CD用：1ブース（1席）
・館内OPAC	2台
・利用者用PC（本の検索およびデジタルデータ閲覧等）	2台
・コピー機（著作権の範囲内で図書館資料のみ複製可）	1台
・拡大読書器	1台
・授乳コーナー（おはなしのへや内）	1ヶ所

(5) 市民図書館開館状況

・開館時間：平日	9:30～19:00／土日祝	9:30～17:00
・休館日	：月曜日 毎月最終木曜日 祝日の翌日 年末年始 特別整理期間	

(18) 鹿島市生涯学習センター（エイブル）年度別利用人数・利用料実績

生涯学習センター(エイブル)年度別利用人数・利用料実績

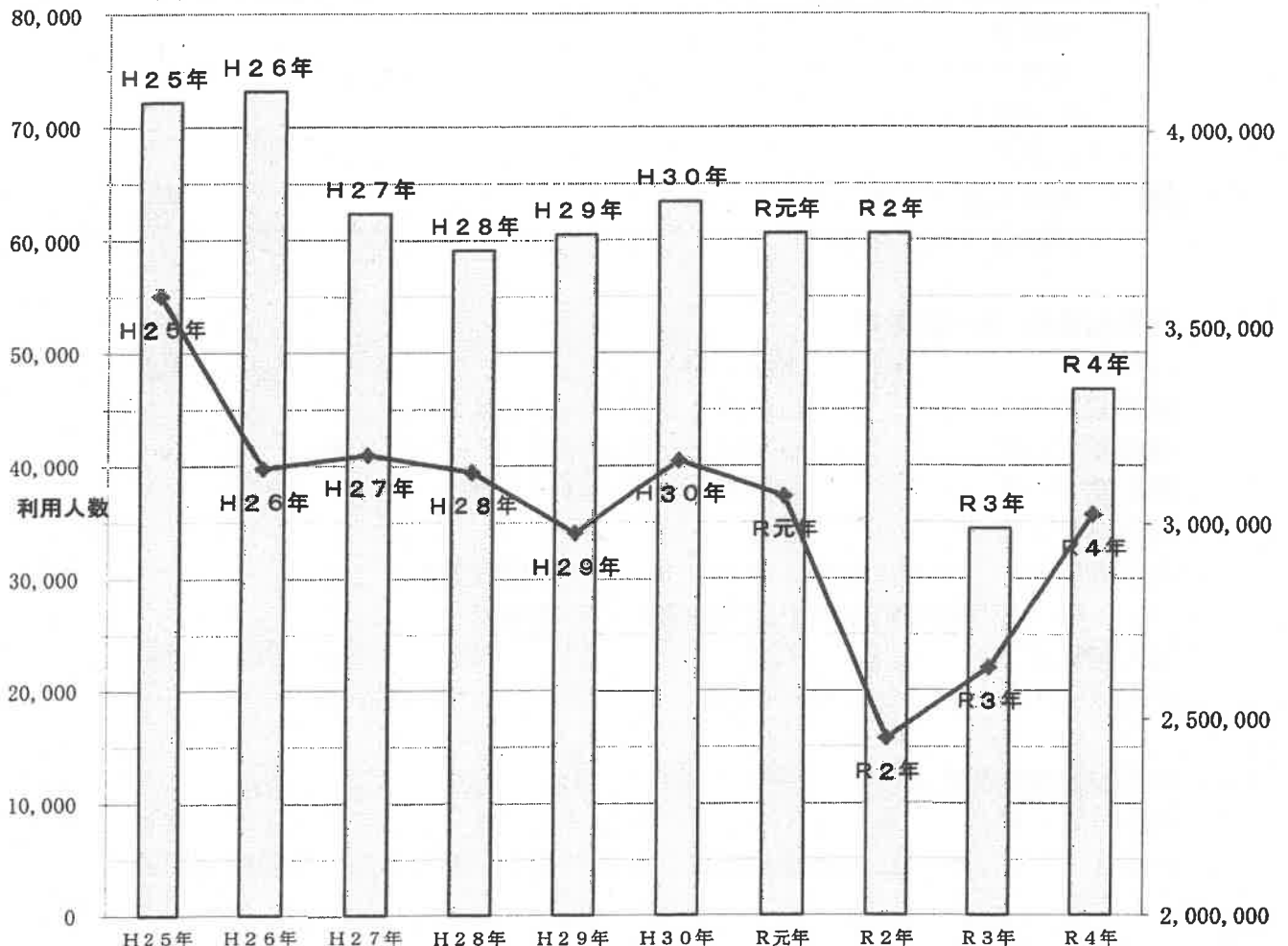
単位：人

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
ホール	22,214	23,841	18,950	19,081	19,393	22,342	21,851	8,340	10,429	17,514
研修室	15,505	14,333	12,238	12,493	13,370	13,536	13,686	7,346	8,112	10,275
調理実習室	2,289	1,807	2,154	1,934	1,859	1,802	1,704	689	956	1,200
和室	6,126	5,337	5,547	5,258	5,163	5,465	4,784	2,814	3,644	3,210
音楽スタジオ	6,250	6,003	4,126	3,944	4,823	4,994	4,580	2,725	3,300	5,032
いきいきルーム	6,625	7,582	5,471	4,176	3,909	4,323	4,154	2,548	169	1,570
生活工房	3,887	3,546	3,212	3,069	3,001	3,494	3,364	2,403	2,524	3,059
学習室	2,554	2,187	2,195	2,253	2,260	1,837	1,822	1,232	1,441	1,347
パソコン	5,364	6,887	6,923	5,867	5,206	4,646	3,645	2,032	2,899	2,155
幼児室	683	884	653	774	552	295	212	63	36	66
床の間コーナー 及び施設見学	726	779	869	223	947	673	808	647	906	1,330
合計	72,223	73,186	62,338	59,072	60,483	63,407	60,610	60,610	34,416	46,758
利用料 (有料のみ 単位：円)	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
	3,582,125	3,142,395	3,177,120	3,132,610	2,976,970	3,162,480	3,071,490	2,451,350	2,631,540	3,023,490

※H21年度より指定管理者

※H24年度より視察項目に床の間ギャラリートーク分を加算

鹿島市生涯学習センター（エイブル）年度別利用人数・利用料の推移



(19) 鹿島市民図書館 年度別利用実績 (過去10年間の比較)

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H13年開館以来の実績
開館日数/日	291	290	292	289	283	292	293	270	273	278	累計 6,191
人口/人 (各年度末)	30,946	30,600	30,361	29,958	29,591	29,174	28,760	28,369	28,007	27,692	/
個人利用登録者数 (各年度末)/人	22,132	22,447	22,762	23,043	23,241	23,324	23,515	23,489	23,564	23,608	
市内外の登録者/人	16,747	17,103	17,450	17,769	18,110	18,356	18,622	18,764	18,951	19,119	/
市内外の登録者/人	5,385	5,344	5,312	5,274	5,131	4,968	4,893	4,725	4,613	4,489	
団体利用登録数 ※団体・おにぎり・相互貸借	279	297	321	338	354	371	383	400	412	428	/
入館者数/人	143,266	136,600	129,037	125,956	117,549	113,218	110,037	78,419	71,356	69,372	
貸出人数/人 (延べ)	64,668	62,731	59,998	58,023	55,023	55,398	55,718	46,389	45,671	42,550	累計 3,186,343
貸出数/点 1冊の	291,826	284,169	274,320	268,506	254,974	251,911	255,608	229,222	227,952	217,556	累計 1,412,132
平均入館者/人 1冊の	492.3	471.0	441.9	435.8	415.4	387.7	375.6	290.5	261.4	249.5	平均 382.1
平均貸出数/点 1冊の	222.2	216.3	205.5	200.8	194.4	189.7	190.2	171.8	167.3	153.1	平均 191.1
利用者1人あたりの 貸出数/点	1,002.8	979.9	939.5	929.1	901.0	862.7	872.4	849.0	835.0	782.6	平均 895.4
市民1人あたりの 貸出数/点	4.51	4.53	4.57	4.63	4.63	4.55	4.59	4.94	4.99	5.11	平均 4.7
登録者1人あたりの 貸出数/点	9.43	9.29	9.04	8.96	8.62	8.64	8.89	8.08	8.14	7.86	平均 8.7
蔵書数/点 (各年度末)	13.02	12.50	11.89	11.48	10.81	10.63	10.70	9.60	9.51	9.05	平均 10.9
蔵書数/点 (各年度末)	183,601	188,527	191,806	195,088	197,802	199,317	200,787	200,309	199,522	197,800	累計 6,266,896

※開館以来の累計

※過去10年間の平均値

※団体利用登録数…団体利用および相互貸借利用の登録団体数
 ※貸出人数…個人貸出、団体貸出および相互貸借の貸出人数、団体数
 ※貸出数…個人貸出、団体貸出および相互貸借の貸出点数
 ※登録者数は、5年以上利用のない登録者(鹿島市・白石町以外)を除いた数です
 ※蔵書数…図書資料・雑誌・視聴覚資料の合計

令和5年度版 鹿島市の教育

令和5年6月発行

編集発行 鹿島市教育委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1

TEL (0954)63-2103

FAX (0954)63-2313

E-mail: syomu@city.saga-kashima.lg.jp
